

文教委員会報告資料

令和元年6月27日

| 報告事項件名 | 頁 |
|--|----|
| (教育指導部) | |
| (1) 平成30年度足立区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について…………… | 1 |
| (2) 平成30年度小学校図書館支援委託事業報告について…………… | 3 |
| (3) 英語チャレンジ講座委託事業者選定委員会のプロポーザル審査結果について…………… | 13 |
| (4) 「足立はばたき塾」に関する平成30年度塾生の進学状況及び令和元年度実施内容について…………… | 16 |
| (5) 平成30年度「いじめ認知・解消状況」及び「第3回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」結果について…………… | 18 |
| (6) 「足立区立中学校に係る運動部活動の方針」の改訂について…………… | 24 |
| (7) 区立小中学校等における生活習慣改善に関する取り組み結果について… | 26 |
| (8) 区立小中学校に在籍する外国籍及び帰国児童・生徒に対する日本語指導について…………… | 28 |
| (9) 「小学校第1学年に関するアンケート」実施結果について…………… | 30 |
| (学校運営部) | |
| (10) 学校の適正規模・適正配置の進捗状況について…………… | 36 |
| (子ども家庭部) | |
| (11) 平成30年度あだちっ子歯科健診の実施結果について…………… | 40 |
| (12) 幼児教育・保育の無償化に関する方針について…………… | 43 |
| (13) 成人年齢18歳引下げに伴うアンケートの実施結果について…………… | 45 |
| (14) 平成30年度の不登校児童・生徒数について…………… | 50 |
| (15) スクールソーシャルワーカー（SSW）の平成30年度活動実績について…………… | 54 |

(教 育 委 員 会)

文教委員会報告資料

令和元年6月27日

| | |
|-------|---|
| 件名 | 平成30年度足立区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について |
| 所管部課名 | 教育指導部教育政策課 |
| 内容 | <p>1 目的</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づいて、足立区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を公表することで、区民への説明責任を果たすとともに、効果的な教育行政を推進することを目的としている。</p> <p>2 「平成30年度足立区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」の内容</p> <p>(1) 評価委員会による評価</p> <p>区民を含む外部の評価委員が行政評価制度に基づき評価を行った。</p> <p>(2) 教育委員による評価</p> <p>教育委員が特定のテーマに基づき評価を行った。</p> <p>平成30年度のテーマは「英語力向上施策」。</p> <p>3 教育委員による主な意見等</p> <p>(1) 施策の網羅性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 網羅性という意味では、現時点で考えられる方策に取り組んでいる。英語マスター講座を視察して、詳細な点まできめ細かく配慮して施策を進めていることに感心した。 ・ 上位層と下位層の生徒を対象としており、大多数を占める中間層の生徒にとっては、普段の授業の品質向上や授業力の向上が重要である。 <p>(2) 現行施策の有効性・改善点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力調査等の結果が上向いている。 ・ 現在の英語力向上の取り組みは有効であり、今後も期待できる。4技能調査のさらなる活用、定期テスト内容の改善など、引き続き成果向上につなげてほしい。 ・ 中学校においては、小学校のときに育てた英語に対する子どもの意識を下げない工夫を期待したい。 |

| | |
|----------------------|--|
| | <p>(3) 新規に追加すべき施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな取り組みより、今の施策を充実させ、実施できる体制づくりが重要である。 ・ 何よりも、英語を使うことの力を身に付けることが重要であると思う。授業改善や特徴ある英語活動を奨励するような仕組みをつくる等、英語に触れる機会の増加、習慣づけを図ることが重要である。 <p>4 小・中学校における外国語教育の充実・強化に向けた今後の方針</p> <p>(1) 授業改善の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校ともに、新学習指導要領に基づき、言語活動を中心とする授業づくりを推進する。 ・ 模範授業を行うことのできる人材を育成し、継続的な授業改善。 ・ 小学校外国語活動アドバイザー・スーパーバイザー、教科指導専門員と担当指導主事との連携を強化する。 ・ 学校ICT環境を活用し、楽しく魅力的で、より効果的な授業の実現を図る。 <p>(2) 英語学習の機運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との連携等を通じた外国人との交流の充実を図る。 ・ 校内掲示、多読用図書の利用、ラジオ語学講座の聴取奨励など、英語教育重点支援校の取組事例を全校に周知し、英語学習環境を整える。 ・ 足立区立中学校教育研究会英語部と連携を図り、区立中学校全校で活用する教材等の作成を検討する。 <p>5 対象事務事業の評価結果</p> <p>(1) 全体評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単純な昨年度比較は困難であるが、評価対象12事業中、6事業が区民評価委員会で昨年度より高評価であった。 <p>(2) 個別評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 反映結果は2事業で良好（5段階中5）、6事業で概ね良好（5段階中4）と、事業改善の姿勢を高く評価された。 ・ 達成度は2事業で良好、9事業で概ね良好、方向性は2事業で良好、8事業で概ね良好であり、事業実績についても、全般的に評価された。 |
| <p>問題点 今後の方針</p> | <p>区ホームページにて区民に公表する。</p> |

文教委員会報告資料

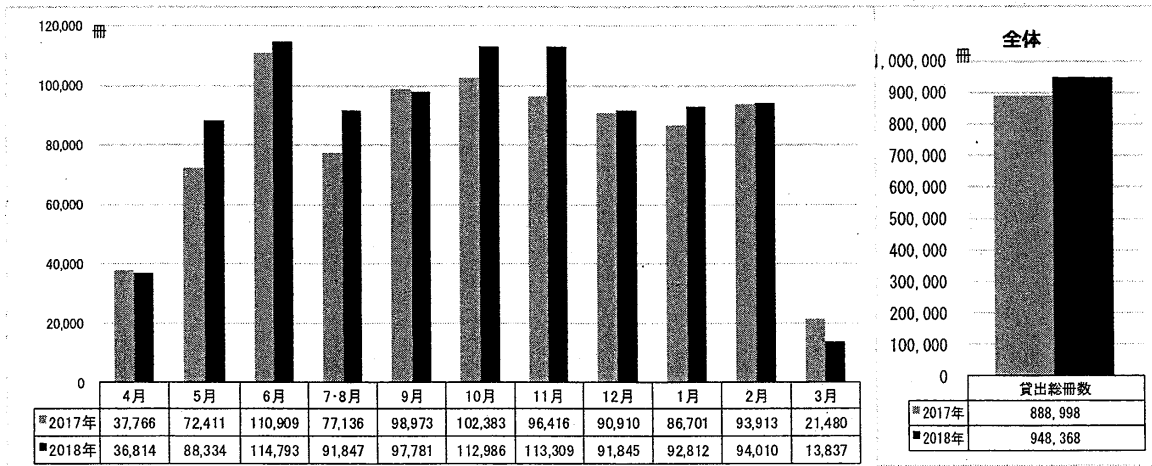
令和元年6月27日

| | |
|--------------|--|
| 件名 | 平成30年度小学校図書館支援委託事業報告について |
| 所管部課名 | 教育指導部教育政策課 |
| 内 容 | <p>1 平成30年度小学校図書館支援委託事業報告 (事業者：株式会社図書館流通センター) ※詳細は別紙参照</p> <p>(1) 業務概要 図書館支援員を小学校全69校に週1日、6時間配置</p> <p>(2) 年間総貸出冊数の増加について (P4、5) ア 年間総貸出冊数が前年度比6.7% (59,370冊) 増加した。 平成30年度は948,368冊、29年度は888,998冊であった。 イ 児童1人あたりの年間総貸出冊数が前年度に比べて5.8% (1.68冊) 増加し、28.57冊から30.25冊となった。</p> <p>(3) 環境整備、書架整備について (P7~12) ア 各小学校で書架整理の徹底及び配架の修正を行い、児童による図書館の利活用促進に向けた工夫を継続した。 イ 季節や時事、児童作家、学校行事や学習等をテーマとした図書館の「テーマ展示」を充実させた。 各校において平均で月1回以上のテーマ展示を実施した。 ウ 昨年度に引き続き、支援員配置以前にあった膨大な量の図書データの補充・修正、各図書館内の案内図や見出し板の作成等は完了することができず、次年度以降も継続することとなった。(継続課題)</p> <p>(4) 授業支援の充実について (P6) ア 読み語りやブックトークの回数が前年度と比べ大幅に増加した。 教員との信頼関係を築きながら、授業支援の機会が増大した。 ・読み語り 29年度453件 → 30年度1,125件 ・ブックトーク 29年度28件 → 30年度183件 【参考】業務時間割合の推移 基本業務 29年度 51% → 30年度 37% 環境整備 29年度 22% → 30年度 36% 授業支援 29年度 9% → 30年度 14%</p> <p>(5) 蔵書構成の推移 (P6) 計画的な選書支援を行い、0類~8類の調べ学習用資料の蔵書割合が文部科学省基準に近づくよう努めた。(継続課題) 【参考】蔵書数 30年度 297,004冊</p> |
| 問題点 今後の方針 | 今年度で委託事業の契約期限となるため、現事業の分析・検討を行い、委託事業を継続するか判断する。 |

足立区立小学校図書館支援業務委託 平成30年度年度末報告書 (抜粋)

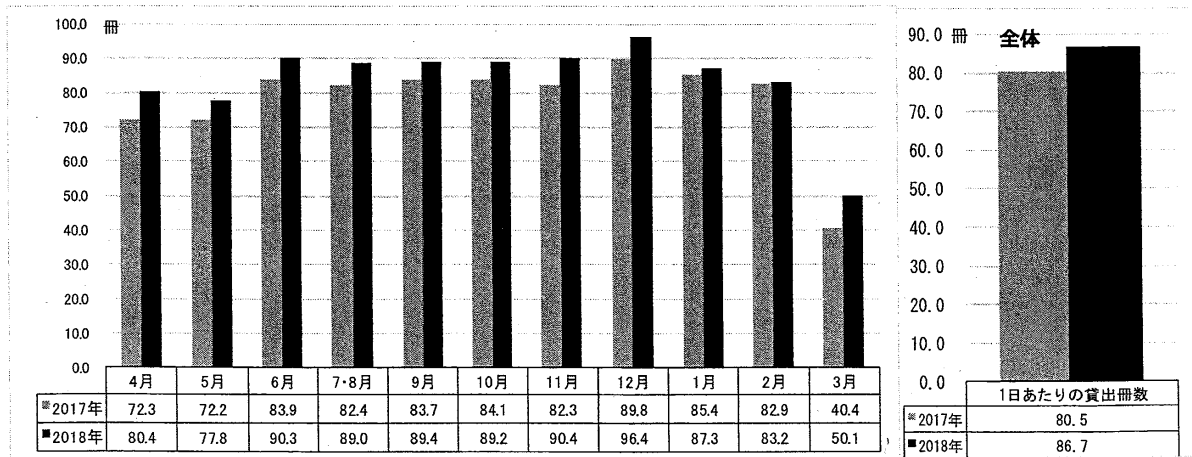
■貸出冊数の推移 (前年同比)

1. 月別貸出冊数の推移 (月別前年比)



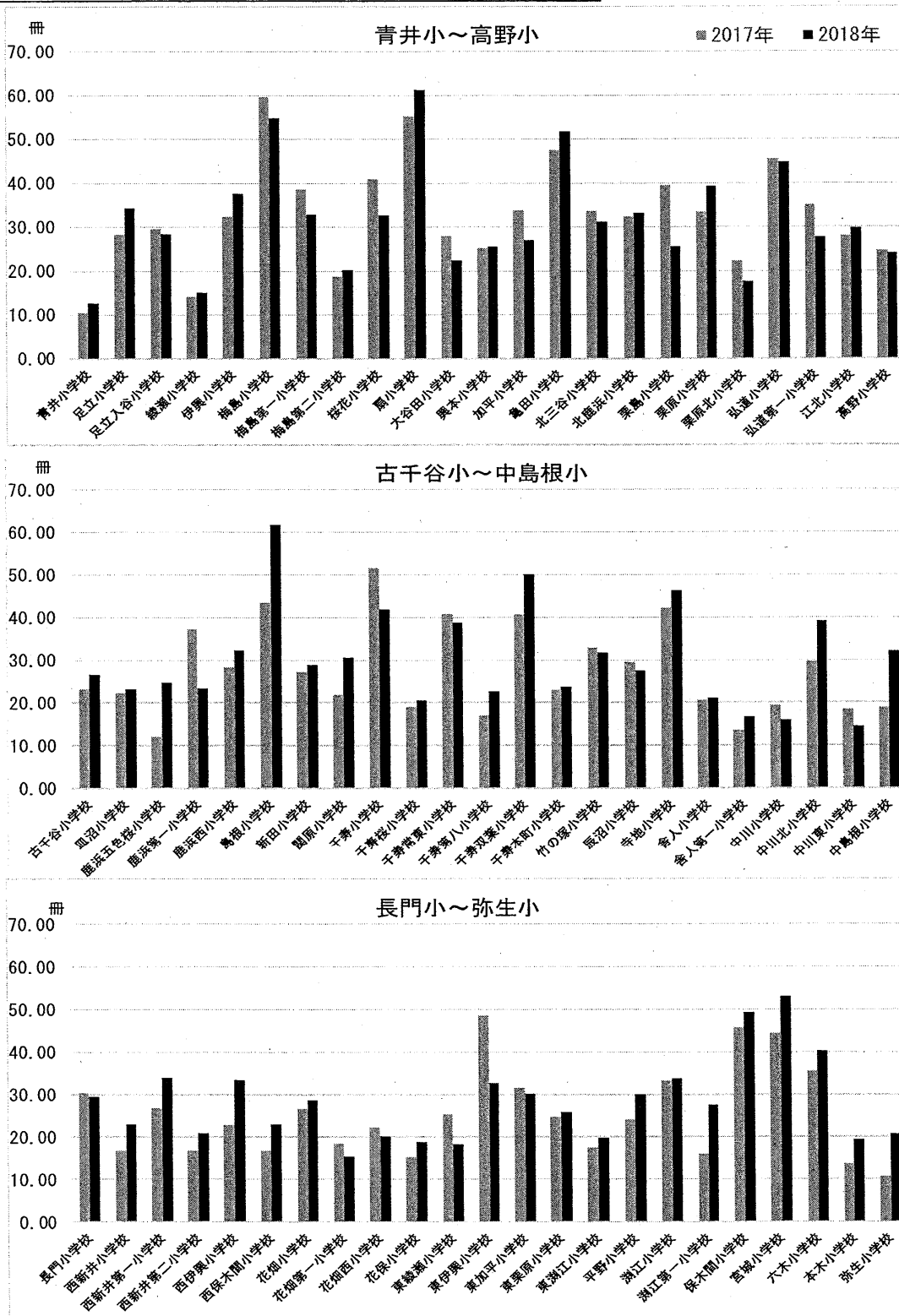
- ・総貸出冊数では前年比で7%の増加となりました。
- ・ほとんどの月で前年の貸出を上回ることができましたが、4月・9月・3月は前年比減となっています。
- ・4月は、学年更新処理が完全に終わってからの貸出開始としたため、昨年度に比べて貸出開始日が遅くなった学校が多かったことが貸出減の要因と考えられます。
- ・9月は、2017年の月曜祝日が1日だったのに対し、2018年は月曜祝日が2日間あったため、開館日数が88日少なくなっています。
- ・3月は、年度末の図書の返却を徹底させるため早めに貸出を中止した学校が、昨年度よりもさらに増え、貸出減となりました。

2. 一日あたりの貸出冊数の推移 (貸出冊数÷貸出日数)



- ・一日あたりの貸出冊数では、すべての月で前年を上回ることができました。
- ・全体では、一日あたり 80.5 冊→86.7 冊、7.7%の伸びとなりました。

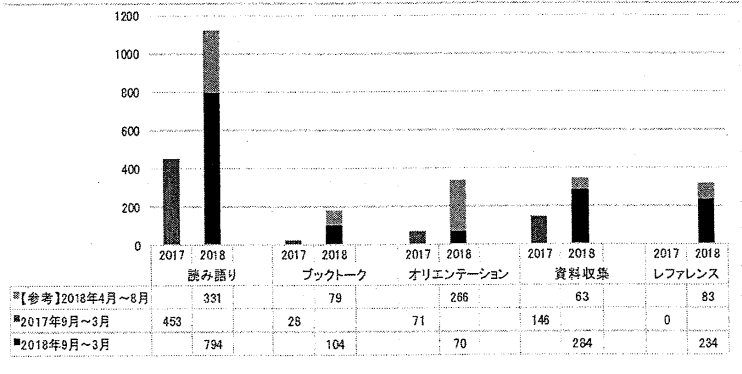
3. 学校別児童一人あたりの貸出冊数の推移（貸出冊数÷児童数）



- ・ 2017年度は年間で28.57冊 → 2018年度は年間で30.25冊 5.8%の増加となりました。
- ・ 4月～8月を比較すると、支援員配置前は9.59冊→配置後は10.58冊となり、10.3%の増加となります。
- ・ 全69校中、44校で前年より児童一人当たりの貸出冊数を伸ばすことができました。
- ・ 学校ごとの一人当たりの貸出冊数にばらつきがある主な要因として、以下のような点があります。
 - ①貸出冊数や貸出期間といった貸出規則が学校毎に違っている
 - ②図書館管理システム「探検隊」を使った貸出処理が徹底されていない
 - ③支援員がいない日は貸出を行わない学校がある

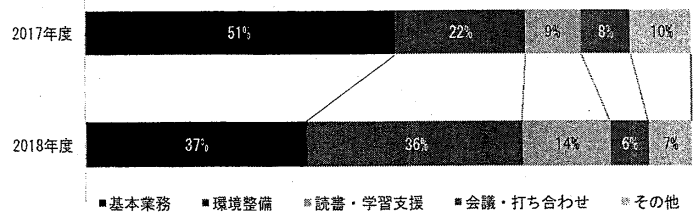
■授業支援内容の推移 (支援員の業務日のみ)

- ・支援員の行った授業支援内容を、前年の実績と比較してグラフ化したものです。2017年度の支援員配置が9月からであったため、比較できるように2018年度は9月～3月と4月～8月に分けてグラフに表示してあります。
- ・読み語り、資料収集は昨年度と比較し、倍近い依頼がありました。
- ・子どもたちが本を知るきっかけとなるブックトークは、昨年度の3倍の回数を実施することができました。
- ・レファレンス対応に関しては、昨年度は実績をカウントしていなかったため、今年度のみの数字となります。



■業務時間内訳の推移

- ・右のグラフは、支援員の業務内容について、関わった時間の割合をグラフ化し、前年度と比較したものです。
- ・2017年度は配置初年度ということもあり、書架整理を中心とした日常業務の占める割合が5割を超えていましたが、2018年度は館内掲示や季節展示などの環境整備に取り組み、業務に占める時間の割合が大幅に増えました。
- ・読書活動や調べ学習支援などの授業支援の割合も9%→14%と増え、今後の利用が期待されます。



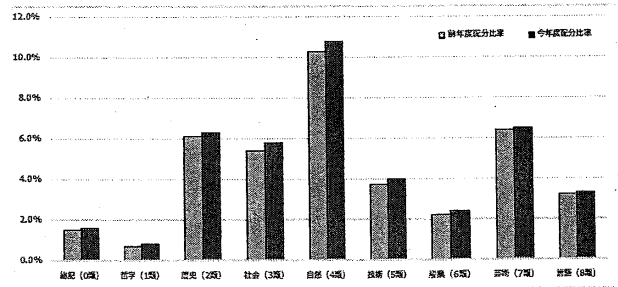
●支援員の業務内容

| | |
|----------|--------------------------------|
| 基本業務 | 貸出・返却対応、レファレンス対応、書架整理、本の修理 |
| 環境整備 | 配架修正、館内掲示・展示、蔵書点検、廃棄作業補助 |
| 読書・学習支援 | 読み語り、ブックトーク、資料収集、図書作り作成、学級文庫整備 |
| 会議・打ち合わせ | 作業計画会議、ボランティアさんとの打ち合わせ |
| その他 | 選書補助、購入図書登録、報告書作成 |

■蔵書構成の推移

| | 総記(0類) | 哲学(1類) | 歴史(2類) | 社会(3類) | 自然(4類) | 技術(5類) | 産業(6類) | 芸術(7類) | 言語(8類) | 文学・絵本 | 合計 |
|------------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|---------|
| 2018年度末蔵書数 | 11,408 | 5,547 | 45,400 | 41,553 | 77,502 | 28,854 | 16,969 | 46,326 | 23,445 | 419,637 | 716,641 |
| 配分比率 | 1.6% | 0.8% | 6.3% | 5.8% | 10.8% | 4.0% | 2.4% | 6.5% | 3.3% | 58.6% | 100% |
| 2017年度末蔵書数 | 10,650 | 4,968 | 42,869 | 37,754 | 71,598 | 26,035 | 15,281 | 44,387 | 22,310 | 421,286 | 697,138 |
| 配分比率 | 1.5% | 0.7% | 6.1% | 5.4% | 10.3% | 3.7% | 2.2% | 6.4% | 3.2% | 60.4% | 100% |
| 文科省基準比率 | 5.0% | 2.0% | 15.0% | 9.0% | 13.0% | 5.0% | 5.0% | 5.0% | 2.0% | 39.0% | |
| 文科省基準冊数 | 35,832 | 14,333 | 107,496 | 64,498 | 93,163 | 35,832 | 35,832 | 35,832 | 14,333 | 279,490 | |
| 過不足 | -24,424 | -8,786 | -62,096 | -22,945 | -15,661 | -6,978 | -18,863 | 10,494 | 9,112 | 140,147 | |

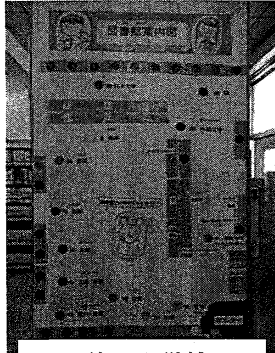
- ・右のグラフは、文学と絵本を除き、分類毎に蔵書数の変化を表したものです。
- ・昨年9月の支援員配置以降、「調べ学習にも対応できる図書館づくり」をテーマに、支援員全員で取り組んでまいりました。その結果、社会科や理科の授業での活用が見込まれる2類・3類・4類で文部科学省の配分比率に近づけることができました。その一方、百科事典や年鑑類など調べ学習に活用できる0類資料が不足しているため、今後積極的な購入のご提案をしていきたいと思っております。
- ・文学と絵本の比率は、文部科学省の比率から見ると多めとなっているので、痛みの激しいものや、黄ばんだり汚れたりしたものを中心に書架から外す「除架」作業に積極的に取り組みました。除架した本は、今後廃棄等の処理を学校と協議の上進めていきたいと思っております。



■平成30年度（2018年度）の主な取り組み

〈環境整備の徹底〉

平成29年（2017年）9月より、各小学校で書架整理の徹底・配架の修正をおこなってきました。新年度になり、引き続き書架整理を継続させながら、館内案内図の作成や差込み見出し板の作成などをおこない、児童が図書館を利用しやすくなるよう、また本を探しやすくなるよう工夫をしました。



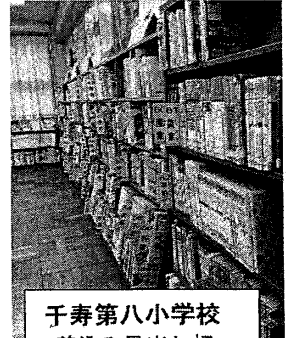
湖沼第一小学校
図書館案内図



青井小学校
書架サイン



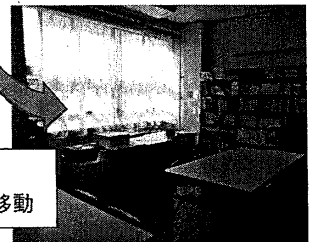
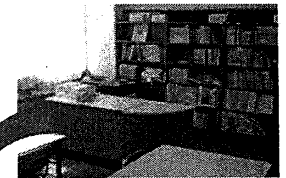
鹿浜第一小学校
側板書架サイン



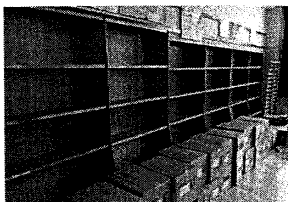
千寿第八小学校
差込み見出し板

宮城小学校では、今までカウンターの後ろに書架があり、本を見る児童と支援員で窮屈でした。カウンターを移動したことで本が手に取りやすくなりました。

東綾瀬小学校では、図書館移転にともない引っ越し作業をおこないました。学校から「児童が利用しやすい図書館になった」との感想をいただきました。また、千寿常東小学校では、夏休みを利用し、調べ学習用図書館のレイアウト変更をおこないました。後期のオリエンテーションを実施し、児童が様々な分類の本に興味を持ち手に取っていました。



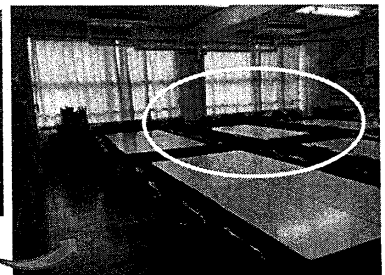
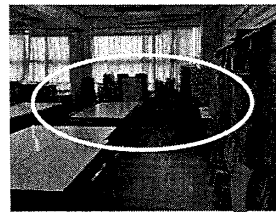
宮城小学校
カウンターの移動



全ての図書を箱詰めし、
配架書架の番号を貼付



移転後の書架へ
図書を配架



東綾瀬小学校
図書館移転にともなう作業

千寿常東小学校
調べ学習用図書館レイアウト変更

〈展示の充実〉

*季節展示

4月の“春”をテーマにした展示から始まり、3月の“卒業”まで、季節感が感じられる展示をおこないました。学校から「時節にあった展示で児童の興味をひくことができた」との感想がありました。

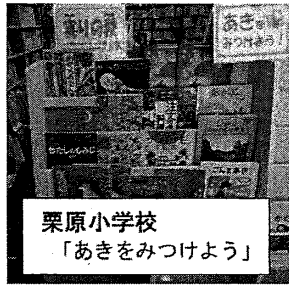
北三谷小学校
「はじまり」



扇小学校
「月の本」



栗原小学校
「あきをみつけよう」



東洲江小学校
「お正月に
読みたい本」



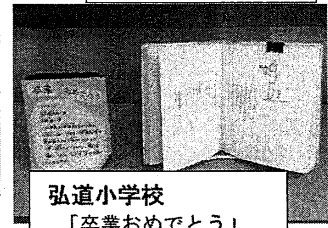
栗島小学校
「雨の日は読書」



長門小学校
「夏休みにおすすめの本」



辰沼小学校
「クリスマス」



弘道小学校
「卒業おめでとう」

*時事関連や児童作家関連の展示

西保木間小学校などの学校で、6月にロシアで開催された“サッカーワールドカップ”にあわせた展示をおこないました。出場国のお話しを紹介する図書を地図・国旗と合わせて展示しました。

「時事に合っていて子どもの興味が高まっているところなので良い」という言葉を図書担当教諭・校長先生より日報に書いて頂きました。

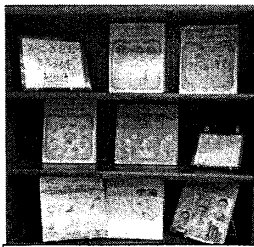


西保木間小学校
「サッカーワールド杯出場国の
お話を読んでみよう」



保木間小学校
「サッカーワールドカップ in ロシア」

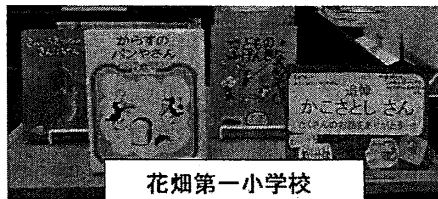
大谷田小学校、他多数の小学校で、“かこさとしさん”や“さくらももこさん”“トミー・ウンゲラーさん”“ジョン・バーニンガムさん”の追悼特集展示、おこないました。多くの作品を子どもたちに紹介する機会となりました。



大谷田小学校
「かこさとしさんの本」



綾瀬小学校
「かこさとしさんの本」



花畑第一小学校
「追悼 かこさとしさん」

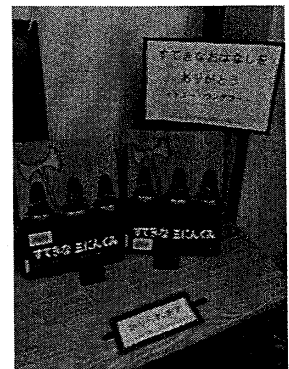
舎人小学校
「すてきなおはなしを
ありがとう
トミー・ウンゲラー」



古千谷小学校
「ありがとう
さくらももこさん」



鹿浜西小学校
「追悼 ジョン・バーニンガムさん」



***学校行事にあわせた展示**

学校行事“運動会”に因んだ展示に取り組みました。

皿沼小学校では、“音楽会”に因んだ「いろいろな音」の展示をおこないました。新田小学校では、運動会から発想したスポーツ関連の図書・読み物を選書し展示をおこない、熱心に読む子どもの姿を目にしました。

栗原北小学校などでは、読書週間の企画として給食コラボの展示をおこないました。児童の身近な給食のメニューと関連していることから、多くの貸出に繋がりました。

島根小学校では、3月の“卒業”にあわせた展示や館内装飾をおこないました。

学校から、「すてきな装飾をありがとうございます」との言葉を頂きました。



新田小学校
運動会関連展示「スポーツ」



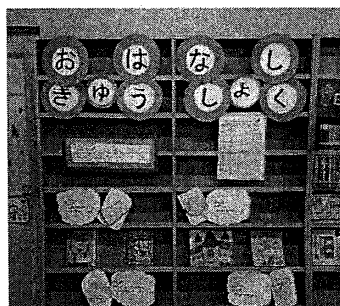
皿沼小学校
音楽会関連「いろいろな音」



高野小学校
展覧会関連展示「びじゅつかんへいこう」



島根小学校
卒業の装飾と
展示「ともだちの本」



伊興小学校
給食コラボ「おはなし給食」



栗原北小学校
給食コラボ「給食にです」



東加平小学校
読書週間「ANNIVERSARY 50周年」



亀田小学校
給食コラボ「おはなし給食」



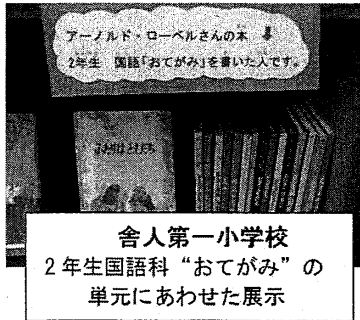
江北小学校
読書週間の展示
「先生おすすめの本」



西新井第一小学校
「先生方の読み語りした本」と
「児童の感想文」

***学習展示**

授業に関する学習展示や夏休みの宿題向けの展示などをおこなった学校が多数ありました。授業で扱った内容や児童の身近な校外学習のため、興味をもって手にとる子どもたちが多数いました。



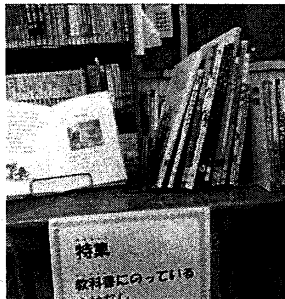
舎人第一小学校
2年生国語科“おてがみ”の
単元にあわせた展示



中島根小学校
3年生総合“新聞にまとめよう”



千寿双葉小学校
3年生国語科“自然のかくし絵”の
単元にあわせた展示



西新井第二小学校
「教科書にのっているおはなし」



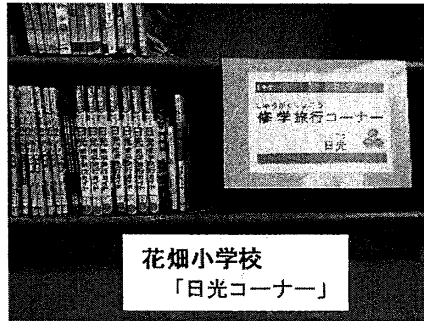
花畑西小学校
「教科書にのっている本」



梅島小学校
「夏休み宿題おたすけ隊」



花保小学校
「日光」



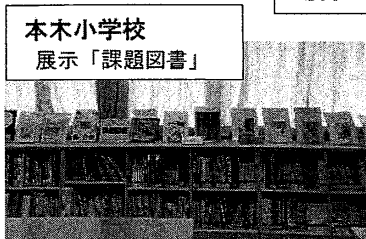
花畑小学校
「日光コーナー」



弥生小学校
「英語の本」

***課題図書紹介**

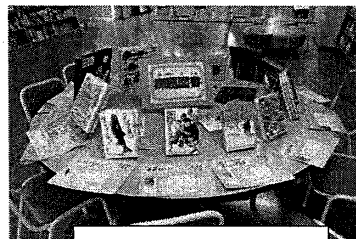
多数の学校で、紹介文のPOPを付けた課題図書の展示をおこないました。紹介した課題図書を手にした児童の「借りて読みたい」といった意見から、夏休み貸出をおこなった学校もありました。



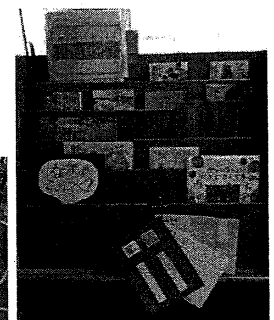
本木小学校
展示「課題図書」



西伊興小学校
展示「課題図書」



加平小学校
展示「課題図書」



梅島第二小学校
展示「課題図書」

***足立区コーナー**

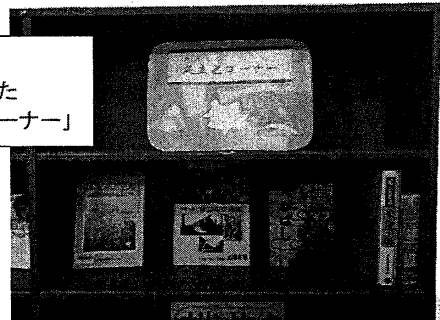
足立区の郷土資料を集め、児童の目につくコーナーづくりをしました。
 学校から「足立区の資料が集まっていると、活用しやすいです」といった言葉を頂きました。



鹿浜五色桜小学校
「足立区郷土資料」



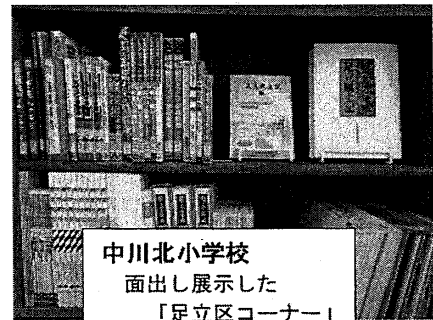
平野小学校
面出し展示した
「足立区コーナー」



北鹿浜小学校
「足立区 BOX」



桜花小学校
「足立区のおはなし」



中川北小学校
面出し展示した
「足立区コーナー」

<読書・学習支援>

***授業用資料収集**

図書担当の先生のお声かけとあわせて支援員からも働きかけることで、授業用資料収集の回数も増えてきました。千寿小学校では、4年生総合「しごと」、東伊興小学校では、3年生国語「自然のかくし絵」、北三谷小学校では3年生算数科「長さ」の資料収集をしました。先生方から「充実した授業ができました」との言葉を頂きました。



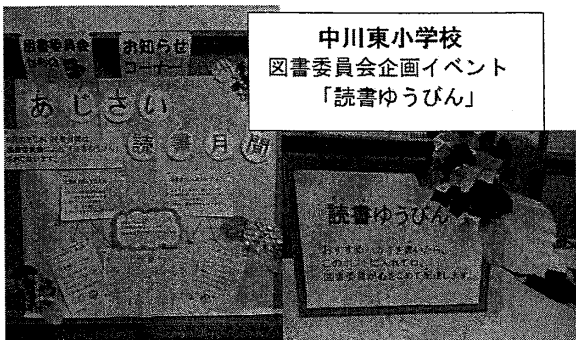
千寿小学校
資料収集「総合・しごと」

***図書委員会活動支援**

中川東小学校のあじさい読書月間の図書委員会企画イベント「読書ゆうびん」のための活動支援をおこないました。友達へのはがきでポストがすぐにいっぱいになりました。

足立小学校では図書委員会による読書週間企画「本の福袋」の活動支援をおこないました。読書週間開始後すぐに、準備した全ての福袋が貸出になりました。

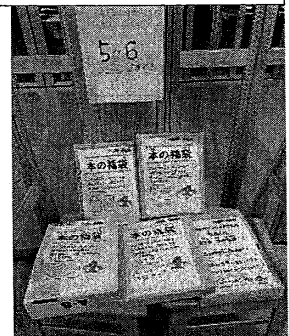
足立小学校
図書委員会企画イベント
「本の福袋」



中川東小学校
図書委員会企画イベント
「読書ゆうびん」



湊江小学校
図書委員の読み語り練習風景

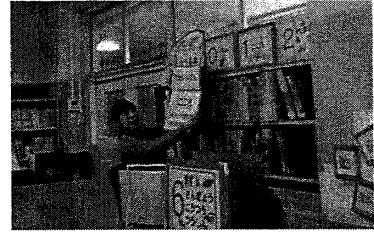


***オリエンテーションやブックトーク**

4月の本社でおこなった「オリエンテーション」の研修をいかし、各校で取り組みました。図書担当の先生からお声をかけていただき、図書館の使い方などのオリエンテーションを子どもたちだけではなく、先生方・図書委員にもおこないました。

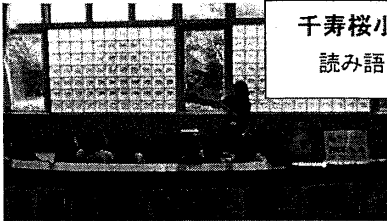
また、図書の時間の「読み語り」の依頼や教科にあわせたブックトークでは「児童の本への興味・関心に繋げることができた」との感想をいただきました。

弘道第一小学校
1年生のオリエンテーション



西新井小学校
先生向けオリエンテーション

千寿桜小学校
読み語り風景



六木小学校
読み語り風景



興本小学校
クイズを取り入れたオリエンテーション

寺地小学校
ブックトーク「教科書に載っている本」



関原小学校
ブックトーク「すこしふしぎ」

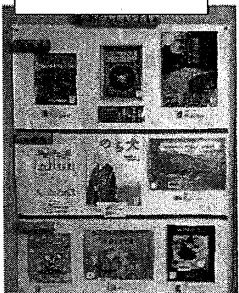


竹の塚小学校
ブックトーク「オノマトペ」

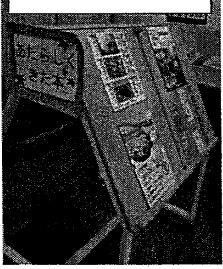


千寿本町小学校
2年生「おしごと体験」

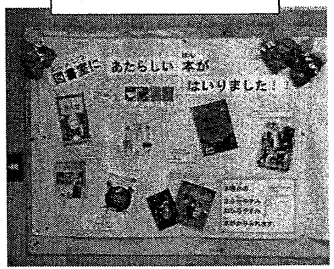
中川小学校



東伊興小学校

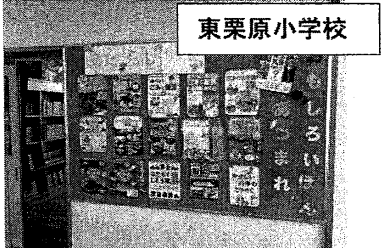


足立入谷小学校



***新着図書のお知らせ**

図書館からの情報発信として、「新着図書のお知らせ」を作成・掲示した学校が多数ありました。「お知らせ」を図書館だけでなく図書館入り口や階段踊り場などにも掲示することで、普段図書館に来ない児童が来館する姿がありました。



東栗原小学校



梅島第一小学校

文教委員会報告資料

令和元年6月27日

| 件名 | 英語チャレンジ講座委託事業者選定委員会のプロポーザル審査結果について | | | | | | | |
|---------------------|---|-------|-------|----------------|-----|---------------------|------|-------|
| 所管部課名 | 教育指導部学力定着推進課 | | | | | | | |
| 内容 | <p>公募型プロポーザル方式による英語チャレンジ講座委託事業者の選定結果について、次のとおり報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 業務名 英語チャレンジ講座委託 2 業務概要 (1) 教材の作成、事前・事後テストの作成・結果分析 (2) 講座の実施 (3) 事前準備・実施に係る中学校との調整・情報の共有 3 選定委員会（プレゼンテーション）開催日 令和元年5月24日（金） 4 選定委員 7名（学識経験者2名、区立中学校長代表2名、区民2名、区職員1名） 5 審査対象事業者 1者（提案書提出事業者 1者） 6 審査結果 ※詳細は別紙のとおり <table border="1" data-bbox="496 1379 1374 1570"> <thead> <tr> <th data-bbox="496 1379 954 1473">提案事業者</th> <th data-bbox="954 1379 1169 1473">得点 (満点644点)</th> <th data-bbox="1169 1379 1374 1473">得点率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="496 1473 954 1570">株式会社エデュケーショナルネットワーク</td> <td data-bbox="954 1473 1169 1570">426点</td> <td data-bbox="1169 1473 1374 1570">66.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>合格最低ラインは満点の60%以上 (平成31年4月16日開催第1回選定委員会における決定事項)</p> 7 契約候補事業者 株式会社エデュケーショナルネットワーク (所在地：東京都千代田区富士見二丁目11番11号) 8 提案書特定日 令和元年5月24日（金） 9 提案見積金額 10,202,500円（消費税抜き） | | 提案事業者 | 得点 (満点644点) | 得点率 | 株式会社エデュケーショナルネットワーク | 426点 | 66.1% |
| 提案事業者 | 得点 (満点644点) | 得点率 | | | | | | |
| 株式会社エデュケーショナルネットワーク | 426点 | 66.1% | | | | | | |

| | |
|----------------------|---|
| | <p>10 提案書特定事業者の主な特長</p> <p>(1) ネイティブ講師によるアクティビティ講座を活用する割合を高めた提案であった。</p> <p>(2) 講座の範囲にとどまらず、家庭学習を含めた講座以外での部分に対するフォロー体制にも踏み込んで考慮された提案であった。</p> <p>(3) 管理責任者の配置と質の高い講師を確保する方針が示され、豊富な受託実績に基づき蓄積したノウハウが十分に活用されながら業務遂行できる体制となっている提案であった。</p> <p>11 今後のスケジュール</p> <p>6月中 仕様書(案)の調整</p> <p>7月上旬 契約締結</p> <p>9月中旬 実施日程・テキスト内容等の決定</p> <p>11月上旬 講座開始</p> <p>3月上旬 講座終了</p> |
| <p>問題点 今後の方針</p> | <p>講座の円滑な実施に向け、委託事業者と緊密に連携して準備を進める。</p> |

英語チャレンジ講座委託 提案書特定結果

| 対象業務名 | | 事業者名 | 配点 | | 第一位順位 | |
|-------------|--|--|--|----|-------|-----|
| 英語チャレンジ講座委託 | | | | | | |
| 項目 | 評価項目 | | | | 得点 | |
| | 分類 | 指標 | | | | |
| 1 | 提案内容 的確性 490点 | 業務実施手順・業務計画は妥当か | 講座開始前の準備から、実施後までの事業運営の手順は妥当か。 | 28 | 175 | 21 |
| 2 | | | 参加生徒や実施会場の管理を含め、円滑な講座実施のための配慮があるか。 | 28 | | 18 |
| 3 | | | 事業の目的を十分に理解し、生徒の英語学習における苦手意識の克服、基礎的な英語力を身に付けることが期待できるプログラム(受講スケジュール・指導内容)を提案しているか。 | 42 | | 26 |
| 4 | | | 学習意欲の向上と自学・自習方法の定着を図ることが期待できるプログラム(受講スケジュール・指導内容)を提案しているか。 | 35 | | 22 |
| 5 | | | 教材は、事業対象にあった内容になっているか | 42 | | 19 |
| 6 | 業務遂行体制は妥当か | 業務を総括する管理担当者と、業務に精通した職員の配置がされているか。 | 業務を総括する管理担当者と、業務に精通した職員の配置がされているか。 | 35 | 140 | 25 |
| 7 | | | 緊急時の連絡体制が整っているか。 | 35 | | 20 |
| 8 | | | 趣旨に沿った力量の講師を配置できているか。 | 35 | | 24 |
| 9 | | | 管理担当者（業務担当者）による巡回等、実施状況を確認し、適正な運営を維持する体制がとれているか。 | 35 | | 24 |
| 10 | 適切な人材の確保および講師の質を維持する体制は整っているか | 教育事業者として、講師や社員の採用時に求める方針がしっかりしているか。 | 教育事業者として、講師や社員の採用時に求める方針がしっかりしているか。 | 49 | 105 | 33 |
| 11 | | | 講座あたり講師の育成方針、研修計画が具体的で講師の質を維持する体制がとれているか。 | 56 | | 35 |
| 12 | 参加生徒の在籍校や保護者との協調性 安全安心に対する取り組み、法令順守に対する取り組み | 参加生徒の在籍校や保護者への具体的な協力体制づくりのプランがあるか。 | 参加生徒の在籍校や保護者への具体的な協力体制づくりのプランがあるか。 | 14 | 70 | 12 |
| 13 | | | 参加生徒の安全確保に関する方針は、具体的に示されているか。 | 21 | | 13 |
| 14 | | | 個人情報保護、内部情報漏洩防止、そのほかの関連法令の内規などは充実しているか。 | 35 | | 29 |
| 15 | プレゼンテーション全体 70点 | 提案事業者・担当者に意欲、熱意、理解、協調性があるか 提案書の内容から、業務遂行に問題はないか | 業務従事者が誠実で、事業に対する意欲、理解が充分に感じられるか。また、質疑応答が的確で説明がわかりやすいか。 | 21 | 70 | 14 |
| 16 | | | 提案書の内容はわかりやすく、具体的なものであるか。資料の内容から、安心して業務委託をすることができるか。 | 21 | | 16 |
| 17 | | | プレゼンテーションは、わかりやすく、具体性があつたか。 | 28 | | 20 |
| 18 | コスト 70点 | コストは妥当か、不当に廉価な価格を提示していないか | 講師の賃金に影響をあたえるよう不当に廉価な価格を提示していないか。見積書の積算は妥当か。 | 70 | 70 | 55 |
| 合計 | | | | - | 630 | 426 |

| 項目 | 評価項目 | | | 加点 | - | 得点 | |
|----|------|------|--------------------|-----------------|----|----|-----|
| | 分類 | 説明 | 評価基準（得点） | | | | |
| 1 | 区内業者 | 区内業者 | 区内に本店があり、対象業務区域が区内 | 区内に本店がある(2点を加点) | 14 | - | 0 |
| 2 | 区内業者 | 区内業者 | 区内に支店があり、対象業務区域が区内 | 区内に支店がある(1点を加点) | 7 | - | 0 |
| 総計 | | | | | | | 426 |

| 順位 | | | | | | 1 |
|----|--|--|--|--|--|---|
|----|--|--|--|--|--|---|

文教委員会報告資料

令和元年6月27日

| | | | | | | | | | | |
|--|---|------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|------------------------|------------------------|------------------|----------|----|
| 件名 | 「足立はばたき塾」に関する平成30年度塾生の進学状況及び令和元年度実施内容について | | | | | | | | | |
| 所管部課名 | 教育指導部学力定着推進課 | | | | | | | | | |
| 内容 | 1 平成30年度足立はばたき塾生の進学先について | | | | | | | | | |
| | (1) 進学先一覧 (人) | | | | | | | | | |
| | 進学先 年度 | 進学指導重点校等※1 | | | 小計 | 都立 中高 一貫校 | 国立 | その他 都立・ 私立 | 難関 私立 | 総計 |
| | | 進学指導 重点校 | 進学指導 特別推進校 | 進学指導 推進校 | | | | | | |
| | 30 | 3 (3.6%) [受験者 4] | 9 (10.7%) [受験者 12] | 21 (25.0%) [受験者 36] | 33 (39.3%) [受験者 52] | 5 (6.0%) [受験者 5] | 1 (1.2%) [受験者 1] | 45 (53.6%) | 2 | 84 |
| | 29 | 4 (4.4%) [受験者 5] | 8 (8.8%) [受験者 14] | 27 (29.7%) [受験者 33] | 39 (42.9%) [受験者 52] | 3 (3.3%) [受験者 3] | 0 (0.0%) [受験者 0] | 49 (53.8%) | 1 | 91 |
| | 28 | 0 (0.0%) [受験者 2] | 2 (2.7%) [受験者 2] | 24 (32.9%) [受験者 29] | 26 (35.6%) [受験者 33] | 2 (2.7%) [受験者 2] | 1 (1.4%) [受験者 2] | 44 (60.3%) | 3 | 73 |
| | 27 | 1 (1.1%) [受験者 4] | 3 (3.2%) [受験者 5] | 23 (24.7%) [受験者 32] | 27 (29.0%) [受験者 41] | 1 (1.1%) [受験者 1] | 0 (0.0%) [受験者 0] | 65 (69.9%) | 2 | 93 |
| | 26 ※2 | 4 (4.4%) | 1 (1.1%) | 30 (33.3%) | 35 (38.9%) | 3 (3.3%) | 1 (1.1%) | 51 (56.7%) | 2 | 90 |
| | 25 ※2 | 6 (8.1%) | 5 (6.8%) | 19 (25.7%) | 30 (40.5%) | 2 (2.7%) | 0 (0.0%) | 42 (56.8%) | 2 | 74 |
| 24 ※2 | 5 (5.0%) | 1 (1.0%) | 31 (31.0%) | 37 (37.0%) | 6 (6.0%) | 0 (0.0%) | 57 (57.0%) | 0 | 100 | |
| <p>※1:生徒の進学希望を実現させることができる都立高校として都教育委員会が指定 全 186 校中、進学指導重点校 7 校、進学指導特別推進校 7 校、進学指導推進校 13 校</p> <p>※2:26 年度以前の受験者数は未調査</p> | | | | | | | | | | |
| (2) 進学先の志望順位 (人) | | | | | | | | | | |
| 順位 年度 | 第一志望 | 第二志望 | その他 | 全体 | | | | | | |
| 30 | 57(67.9%) | 17(20.2%) | 10(11.9%) | 84 | | | | | | |
| 29 | 66(72.5%) | 20(22.0%) | 5(6.6%) | 91 | | | | | | |
| 28 | 45(67.2%) | 15(22.4%) | 6(9.0%) | 67 | | | | | | |
| <p>注1: () 内は受講者全体における志望校合格達成者の割合 注2: 28 年度は、参加者 73 人中アンケートに回答のあった 67 人の生徒の志望校 順位から算出。また、27 年度以前は未調査。</p> | | | | | | | | | | |

| | |
|----------------------|---|
| | <p>2 令和元年度足立はばたき塾の実施について</p> <p>(1) 実施事業者 (株)エデュケーショナルネットワーク (5年目)</p> <p>(2) 令和元年度塾生 (第8期生) 82名 (第1次募集) 入塾申込者 125名のうち、所得審査と学力診断テスト(3月10日実施)により、はばたき塾生 83名を決定した (うち1名辞退)。</p> <p>(3) 講座概要 4月5日(金)より開始(定期講座40回、夏・冬季集中講座15日) 数学・英語を中心とした5教科。会場は、こども支援センターげんき。</p> |
| <p>問題点 今後の方針</p> | <p>生徒の在籍校と事業者との連絡を密にしつつ効果的な学習支援を行い、塾生の志望校合格を目指していく。</p> |

文教委員会報告資料

令和元年6月27日

| | | | | | | | | | | |
|-------------|--|---------|-----|---------|--|-----|---------|--|---|---------|
| <p>件名</p> | <p>平成30年度「いじめ認知・解消状況」及び「第3回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」結果について</p> | | | | | | | | | |
| <p>所管課名</p> | <p>教育指導部教育指導課</p> | | | | | | | | | |
| <p>内容</p> | <p>平成30年度「いじめの認知・解消状況」及び「第3回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」結果について下記のとおり報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 いじめの認知・解消状況（年度末現在）</p> <p>(1) 平成30年度いじめ認知件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>11,261</u>件（対前年度比+176件） ・ 法令上のいじめの定義への理解が深まったことによる増。 <p>(2) 前年度未解消件数（H29年度→H30年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>1,843</u>件（3か月間の経過観察中事案を含む） <p>(3) いじめ解消状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解消件数 <u>10,367</u>件（3か月間の経過観察事案を除く） ・ 解消率 <u>79.1</u>% ・ 解消率＝解消件数÷（認知件数+前年度未解消件数）×100 <p>※ 平成29年度までは3か月の経過観察期間を考慮した解消・未解消件数を用いていなかったため、「前年度未解消件数」「解消件数」「解消率」の対前年度比較は省略。</p> <p>2 平成30年度いじめに関するアンケート調査結果（第3回）</p> <p>(1) アンケート実施期間 平成31年2月1日～27日において各学校が定めた期間</p> <p>(2) 対象 全区立小中学校 全児童・生徒</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>調査回答数</td> <td>小学校</td> <td>31,335名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学校</td> <td>12,951名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>44,286名</td> </tr> </table> <p>(3) アンケート実施方法 児童・生徒が家庭にアンケート用紙を持ち帰り記入した後、専用の封筒で学校に提出する。</p> | 調査回答数 | 小学校 | 31,335名 | | 中学校 | 12,951名 | | 計 | 44,286名 |
| 調査回答数 | 小学校 | 31,335名 | | | | | | | | |
| | 中学校 | 12,951名 | | | | | | | | |
| | 計 | 44,286名 | | | | | | | | |

(4) 結果概要

全体については別紙1のとおり。

以下主要項目の前回(11月)との比較。

- ・「相談できる人がいる」
99.1% (+0.3ポイント)
- ・「冷やかし、からかい、悪口を言われた。」
2,625件 (-1,385件)
- ・「今、いじめられている」
346件 (-158件)
- ・未提出数
470件 (+24件)

(5) 主なアンケートの考察

①項目1 「相談できる人がいる」児童・生徒の割合が増加。

ア SCへの相談が増加。

(小学校+1.9P、中学校+0.4P、計+1.5P)

イ 先生への相談が増加

(小学校+1.4P、中学校+0.2P、計+1.1P)

ウ 習い事の先生や友達の子供への相談は多い。

エ ネットの友達への相談が増加。

→引き続き、嫌なことがあったときには、周りに相談し、助けを求めることは正しい行為であるという意識を、児童・生徒にもたせていき、相談相手のいない児童・生徒の割合を0に近づける。

②項目2～12 児童・生徒が認識する、いじめの行為は減少。

ア いじめの行為の具体的な内容として、「遊びがエスカレートした」「いきなりやられて、やられた理由がわからない」というものが多くある。

→人間関係が良好であっても互いに意思疎通がうまくいかず、いじめが発生する場合がある。道徳などで事例を用いたロールプレーを行い、他の心情を理解する機会を増やしていくことで、いじめの行為の減少を図っていく。

③回答率は微減

ア 中学校の回答率は微増。アンケートの未回収数が2名以内の学校が増加。

(全員回収した学校+1校、未回収数2名以内の学校+3校)

→引き続き、校長会及び生活指導担当者連絡会にて、全員実施・全員回収が原則であることを周知徹底する。

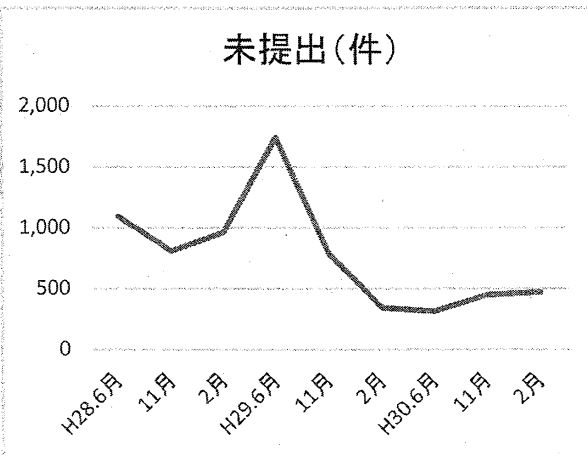
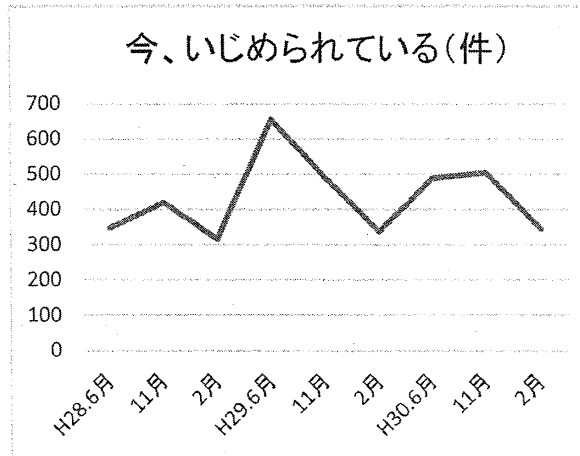
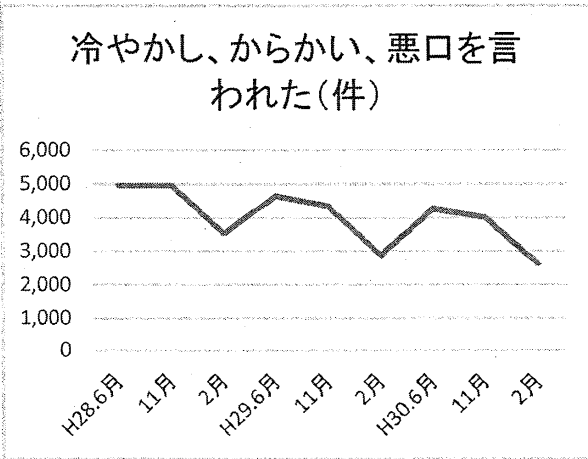
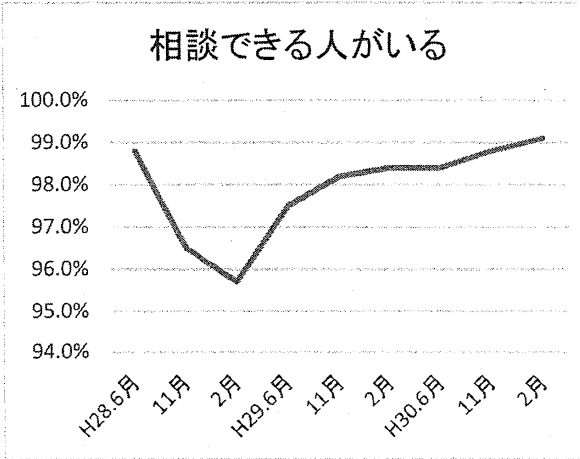
(6) いじめ等問題対策委員会での意見

- ・子どもからSOSのサインを出せる環境をつくるのが大切である。先生の普段の授業のやり方や子どもとの関わり方が関係しているように思えるので、受容の雰囲気づくりが上手な先生

| | |
|----------------------|---|
| | <p>の手法を区教委と学校で研究してみても良いかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の問題もあると思うのだが、いじめに関するデータを少なくとも当該の子どもが中学校3年生になるまでは保存をして、それを共有できるようになれば良いと思う。 ・区教委が子どもの状況をよく把握し、非常に有機的に動いている。委員会においても数字だけでなく子どもの現状が手に取るようにわかるのでとても良い。一方でこのような区教委の対応や方針をきちんと理解できていない学校があるように思われる。校長の意識を高めていってほしいと思う。 |
| <p>問題点 今後の方針</p> | <p>新年度を向かえるにあたり、不登校が始まった時期を確認し、いじめ一覧表と照らし合わせることで、いじめの重大事態を防ぐために、適宜学校に指導を入れる。また「いじめを原因とした不登校」への認識を深め、いじめの個表等を活用して、早期発見、初期対応を確実に行っていく。生活指導連絡会等を通して、事例や対応を紹介するなど、教員のいじめ対応力を強化していく。</p> |

【いじめに関するアンケート調査結果 (経年)】

| | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | H28.6月 | 11月 | 2月 | H29.6月 | 11月 | 2月 | H30.6月 | 11月 | 2月 |
| 相談できる人がいる | 98.8% | 96.5% | 95.7% | 97.5% | 98.2% | 98.4% | 98.4% | 98.8% | 99.1% |
| 冷やかし、からかい、悪口を言われた | 4,956件 | 4,956件 | 3,529件 | 4,640件 | 4,340件 | 2,864件 | 4,261件 | 4,010件 | 2,625件 |
| 今、いじめられている | 348件 | 419件 | 316件 | 655件 | 489件 | 337件 | 488件 | 504件 | 346件 |
| 未提出 | 1,089件 | 808件 | 963件 | 1,740件 | 784件 | 342件 | 314件 | 446件 | 470件 |



平成30年度いじめに関するアンケート調査結果（第3回：2月）

（数値左：第1回 中央：第2回 右：第3回）

| 基礎情報 | 小学校 | | | 中学校 | | | 合計 | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 6月 | 11月 | 2月 | 6月 | 11月 | 2月 | 6月 | 11月 | 2月 |
| 在籍数 | 31,487 | 31,582 | 31,481 | 13,363 | 13,356 | 13,275 | 44,850 | 44,938 | 44,756 |
| 調査回答数 | 31,378 | 31,466 | 31,335 | 13,158 | 13,026 | 12,951 | 44,536 | 44,492 | 44,286 |
| 回答率(%) | 99.7 | 99.6 | 99.5 | 98.5 | 97.5 | 97.6 | 99.3 | 99.0 | 98.9 |
| 未回収数 | 109 | 116 | 146 | 205 | 330 | 324 | 314 | 446 | 470 |

結果

| 調査項目 | 小学校 | | | 中学校 | | | 合計 | | | |
|---|------------------|------------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------|
| | 6月 | 11月 | 2月 | 6月 | 11月 | 2月 | 6月 | 11月 | 2月 | |
| 1 相談できる人がいる | 99.1% | 99.2% | 99.3% | 96.8% | 97.9% | 98.6% | 98.4% | 98.8% | 99.1% | |
| ＜内訳＞ ※複数回答 | 親 | 90.7% | 91.5% | 91.4% | 78.2% | 79.4% | 80.1% | 87.0% | 87.9% | 88.1% |
| | 姓 | 61.8% | 62.1% | 63.5% | 43.7% | 46.7% | 46.9% | 56.4% | 57.6% | 58.7% |
| | SC | 13.1% | 13.0% | 14.9% | 18.2% | 17.8% | 18.2% | 14.6% | 14.4% | 15.9% |
| | 友人 | 54.7% | 57.9% | 59.1% | 75.3% | 77.4% | 77.5% | 60.8% | 63.6% | 64.5% |
| | 他 | 4.4% | 4.5% | 4.3% | 4.0% | 3.5% | 2.7% | 4.3% | 4.2% | 3.9% |
| <p>●上記の「家の人」は、兄弟・祖父母・いどこや親類等同居の場合も含む。</p> <p>●「その他」で記載された人物等の傾向について - 習い事の先生、友達の父母、学童の先生、近所の人、げんきの職員、先輩・後輩、キッズのスタッフ、ネットの友達、医者（心理士も含む）、電話相談、警察官、児童館の先生、元担任 ※ペット（犬、猫、ハムスター）、人形、ぬいぐるみ</p> | | | | | | | | | | |
| 2 冷やかし、からかい、悪口を言われた | 12.5% (3,922) | 11.7% (3,633) | 7.8% (2,452) | 1.3% (173) | 2.5% (327) | 2.6% (339) | .6% (4,261) | 9.0% (4,010) | 5.9% (2,625) | |
| 3 仲間はずれ、無視 | 5.2% (1,627) | 5.5% (1,715) | 3.1% (964) | 0.4% (46) | 0.7% (94) | 0.7% (97) | 3.9% (1,724) | 4.1% (1,809) | 2.3% (1,010) | |
| 4 軽くぶつかる、叩かれる、蹴られる | 3.7% (1,163) | 3.5% (1,089) | 2.4% (748) | 1.0% (138) | 1.0% (128) | 0.5% (63) | 1.8% (811) | 2.7% (1,217) | 2.9% (1,301) | |
| 5 ひどく叩かれる、蹴られる | 2.8% (869) | 2.6% (814) | 1.5% (478) | 0.4% (55) | 0.3% (37) | 0.2% (27) | 2.1% (924) | 1.9% (851) | 1.1% (505) | |
| <p>主な内容例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口げんかから蹴られた（叩かれた）。 ・注意して蹴られた（叩かれた）。 ・ふざけ合いでぶたれた（蹴られた）。 ・断ったことで蹴られた。 ・通りがかりに蹴られた。 ・ちょっかいで叩かれた。 ・移動するときにおされた。 ・髪の毛をひっぱられた。 ・けんかを止めようとして、逆に蹴られた。 ・嫌なことを言ったら蹴られた。 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 6 | お金を取られる、隠される | 0.1% 未満 (22) | 0.1% 未満 (30) | 0.1% 未満 (19) | 0.1% 未満 (9) | 0.1% 未満 (6) | 0.1% 未満 (2) | 0.1% 未満 (31) | 0.1% 未満 (36) | 0.1% 未満 (21) |
| 主な内容例 ・貸したお金が返ってこない。・おごる感覚であげてしまった。・拾ったお金を盗られた。 ・特定の友達と遊んでいるとお金がなくなることが多い。・貸してとせがまれた。 ・財布からお金を抜き盗られそうになった。 | | | | | | | | | | |
| 7 | 物をとられる、隠される | 2.8% (864) | 2.7% (851) | 1.8% (568) | 0.7% (92) | 0.6% (74) | 0.4% (51) | 2.1% (956) | 2.1% (925) | 1.4% (619) |
| 8 | 嫌なことをされる、させられる | 1.8% (564) | 1.7% (549) | 1.2% (389) | 0.4% (55) | 0.4% (51) | 0.2% (21) | 1.4% (619) | 1.3% (600) | 0.9% (410) |
| 9 | パソコンやスマホ、携帯での嫌がらせ | 0.2% (68) | 0.2% (77) | 0.2% (64) | 0.4% (49) | 0.4% (51) | 0.2% (22) | 0.3% (117) | 0.3% (128) | 0.2% (86) |
| 10 | 他のことでのじめられた | 1.1% (332) | 0.9% (278) | 0.7% (213) | 0.1% (12) | 0.1% (11) | 0.1% (14) | 0.8% (344) | 0.6% (289) | 0.5% (227) |
| 主な内容例 ・水をかけられた。・ボールをぶつけられた。・にらまれた。・口真似をされた。・机を離された。 ・内緒にしてほしい話を口外された。・並ぶとき列に入れてもらえなかった。・足を踏まれた。 ・持っていたボールを奪われた。・机の上に落書きされた。・勝手に道具箱を開けられた。 ・ドッチボールでボールを渡してもらえなかった。・パンチの真似をされた。 | | | | | | | | | | |
| 11 | 友達がいじめられているのを見た | .1% (2,243) | 7.6% (2,400) | 4.6% (1,441) | 1.3% (166) | 1.1% (146) | 0.7% (97) | 5.4% (2,409) | 5.7% (2,546) | 3.5% (1,538) |
| 12 | 今、いじめられている | 1.4% (428) | 1.5% (463) | 1.0% (312) | 0.5% (60) | 0.3% (41) | 0.3% (34) | 1.1% (488) | 1.1% (504) | 0.8% (346) |

未回収数の内訳

| | 小学校 (校) | | | 中学校 (校) | | | 全体 | | |
|-------|---------|-----|----|---------|-----|----|-----|-----|-----|
| | 6月 | 11月 | 2月 | 6月 | 11月 | 2月 | 6月 | 11月 | 2月 |
| 全員回収 | 27 | 29 | 26 | 1 | 3 | 4 | 28 | 32 | 30 |
| 1名 | 15 | 17 | 10 | 4 | 1 | 3 | 19 | 18 | 13 |
| 2名 | 10 | 6 | 12 | 4 | 2 | 3 | 14 | 8 | 15 |
| 5名以内 | 11 | 11 | 15 | 9 | 10 | 7 | 20 | 21 | 22 |
| 10名以内 | 6 | 6 | 5 | 13 | 7 | 1 | 19 | 13 | 6 |
| 11名以上 | 0 | 0 | 1 | 4 | 12 | 17 | 4 | 12 | 18 |
| 合計 | 69 | 69 | 69 | 35 | 35 | 35 | 104 | 104 | 104 |

未回収となった主な理由

| | 小学校 | | | 中学校 | | | 全体 | | |
|--------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 6月 | 11月 | 2月 | 6月 | 11月 | 2月 | 6月 | 11月 | 2月 |
| 学籍のみ | 10 | 8 | 9 | 6 | 3 | 2 | 16 | 11 | 11 |
| 実施期間中に居住地以外に在住 | 9 | 10 | 15 | 4 | 3 | 4 | 13 | 13 | 19 |
| 児童相談所等に入所中 | 7 | 6 | 8 | 6 | 8 | 2 | 13 | 14 | 10 |
| 不登校であり、回収に至らなかった | 50 | 70 | 82 | 150 | 305 | 283 | 200 | 375 | 365 |
| 不登校気味で、日常的に本人・保護者との面会が困難 | 8 | 6 | 14 | 31 | 2 | 14 | 39 | 8 | 28 |
| 本人・保護者の判断 | 13 | 5 | 2 | 4 | 3 | 13 | 17 | 8 | 15 |
| 病気 (入院中も含む) | 5 | 2 | 5 | 4 | 4 | 4 | 9 | 6 | 9 |
| 日本語による読解が困難な状況 | 5 | 6 | 10 | 0 | 1 | 0 | 5 | 7 | 10 |
| 拒否 | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 | 2 | 2 | 4 | 3 |
| 合計 | 109 | 116 | 146 | 205 | 330 | 324 | 314 | 446 | 470 |

文教委員会報告資料

令和元年6月27日

| | |
|-------|---|
| 件名 | 「足立区立中学校に係る運動部活動の方針」の改訂について |
| 所管部課名 | 教育指導部教育指導課 |
| 内容 | <p>文化庁策定の「文化部活動の在り方に関するガイドライン」及び「東京都教育委員会 文化部活動の在り方に関する方針」が策定された。</p> <p>これを受け、既存の「足立区立中学校に係る運動部活動の方針」を改訂する。</p> <p>1 運動部活動ガイドラインと合わせ部活動全体版として改訂</p> <p>(1) 構成および項目ごとの趣旨がほぼ同じである。</p> <p>ガイドラインの構成は運動部のものと同じ。</p> <p>項目によっては「地域行事への参加」など文化部独自の視点もあるが、趣旨的には運動部活動ガイドラインと同様の内容・方向性となっている。</p> <p>(2) 教員の使い勝手</p> <p>教員は運動部・文化部ともに顧問や指導者に当たる可能性があり、年度で運動部・文化部間での異動もある。ガイドラインを1冊にまとめた方が教員にとっての使い勝手がよい。</p> <p>(3) 東京都教育委員会の方針</p> <p>東京都教育委員会「文化部活動のあり方に関する方針」において、「部活動全体に係るものとして作成することも可能」と記載されている。</p> <p>2 ガイドラインの構成および運動部・文化部ごとの共通点・特色点</p> <p>(1) 部活動の方針の趣旨等</p> <p><u>知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」を育むため…</u></p> <p>(運) 運動習慣の確立を図り、生涯にわたって心身の健康を…</p> <p>(文) 多様な表現や鑑賞の活動を通して豊かな心や創造性の涵養…</p> <p>(2) 適切な運営のための体制整備</p> <p>① 適切な部の設置 = 共通</p> <p>② 部活動方針・年間活動計画等の作成 = 共通</p> <p>③ 指導・運営に係る体制の構築</p> <p><u>過度の負担とならないよう、参加する大会等の精選…</u></p> |

| | |
|--------------|---|
| | <p>(運) 大会・試合…中学校体育連盟の目安 (文) 大会等や地域行事、催し物等…中学校文化連盟等の目安</p> <p>④ 地域・保護者との連携 <u>学校と地域が共に子どもを育てるという視点に立ち…</u> (運) 地域のスポーツ団体、民間事業者 (文) 地域の文化団体、社会教育関係団体、民間事業者、社会教育施設、文化施設</p> <p>(3) 適切な休養日等の設定</p> <p>① 休養週 2 日以上、長期休業中にはある程度連続した期間 …共通</p> <p>活動時間 (運) 平日 2 時間、週休日 3 時間、原則週当たり 16 時間以内 (文) 平日 2 時間、週休日 3 時間 <u>足立区版では吹奏楽部を想定し「16 時間以内」も併記。</u></p> <p>② 休養日の設定の工夫…共通</p> <p>(4) 適切な部活動指導の実施</p> <p>① 適切な運動部活動指導の実施…運動部独自</p> <p>ア 健康管理、事故防止、体罰・ハラスメント禁止 ⇒<u>文科省の「部活指導ガイドライン」に則り…</u></p> <p>イ 熱中症事故防止</p> <p>ウ 効果的な指導の実施 ⇒<u>スポーツ医・科学の視点から…</u></p> <p>エ 運動部活動用の指導の手引きの活用 ⇒<u>中央競技団体が作成した指導手引等を活用</u></p> <p>② 適切な文化部活動指導の実施…文化部独自</p> <p>ア 健康管理、事故防止、体罰・ハラスメントの禁止 ⇒<u>生徒の心身の健康管理…</u></p> <p>イ 効果的な指導の実施 ⇒<u>バランスの取れた健全な成長確保の視点から…</u></p> <p>ウ 熱中症事故防止 (<u>足立区独自で本項目を追加</u>)</p> <p>エ 文化部活動用指導手引等の活用 ⇒<u>文化部活動に関わる各分野の関係団体等が作成した指導手引等を活用</u></p> |
| 問題点 今後の方針 | 区内中学校長へ通知する。 |

文教委員会報告資料

令和元年6月27日

| | |
|-------|--|
| 件名 | 区立小中学校等における生活習慣改善に関する取り組み結果について |
| 所管部課名 | 教育指導部教育指導課 |
| 内容 | <p>東京医科歯科大学及び江戸川大学と連携して実施した、区立小中学校等における生活習慣改善の取組み（平成30年度「健やかな子どもの育成事業」）の結果について報告する。</p> <p>※ 詳細については、別冊「生活習慣改善に関する取り組み結果報告書」参照</p> <p>1 目的等</p> <p>(1) 東京医科歯科大学及び江戸川大学と連携して実施して作成した「生活習慣取組みカード」をモデル校・園（区内保育園・幼稚園、小学校・中学校）において活用し、以下の生活習慣の改善に関する指導を実施した。</p> <p>ア 毎日朝食をとる イ 野菜から食べる ウ からだを動かす エ 同じ時間に寝る</p> <p>(2) 今後の指導の改善につなげるため、今回、保護者の同意を得て提供を受けた「生活習慣取組みカード」のデータについて東京医科歯科大学及び江戸川大学において整理・分析した結果を取りまとめた。</p> <p>2 対象・期間</p> <p>(1) 対象</p> <p>学年：小学校第4学年、中学校第2学年、5歳児 小学校：千寿小、千寿双葉小、千寿常東小、皿沼小、宮城小、足立入谷小、東加平小、中川東小、花保小（計9校） 中学校：千寿桜堤中、第五中、江南中、入谷中、花畑北中、六月中（計6校） 保育園：第二日ノ出保育園、宮城保育園、いりや第一保育園、いりや第二保育園、日ノ出町保育園、三星保育園（計6園） 幼稚園：東京白百合幼稚園、足立みどり幼稚園、とねり伊藤幼稚園（計3園）</p> <p>(2) 期間</p> <p>小学校・中学校：平成30年9月～11月 保育園・幼稚園：平成30年12月</p> |

3 取り組み結果と専門家からの提案

| | 取り組み結果の概要 | 専門家からの提案 |
|------|---|---|
| 食習慣 | <ul style="list-style-type: none"> ・半数を超える子どもが1日当たり2回以上、食事の最初に野菜を食べている。 ・朝食欠食の日がある子どもが小4と中2で1割以上いる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1日当たり2回以上食事の最初に野菜を食べる日を、1日でも多く増やすよう促すことが重要である。 ・朝食に関して、欠食の日を1日でも多く減らすよう家庭の理解を得て取り組みを促すことが重要である。 |
| 運動習慣 | <ul style="list-style-type: none"> ・小4では、平日で見ると、半数超が毎日30分以上運動している一方、中2では、数値が低くなる傾向にある。土日でも同様の傾向にある。 ・半数近くの5歳児が、平日は毎日、体を動かして遊んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小4では、運動習慣に関する努力目標を「30分以上運動する回数を週3回以上」とすることが妥当である。 ・中2では、機会を捉えて30分以上運動することの必要性について意識するよう指導することが重要である。 ・5歳児では、土日に体を動かして遊ぶ機会を設けるよう家庭に対して促すことが考えられる。 |
| 睡眠習慣 | <ul style="list-style-type: none"> ・起床時刻のズレは1週間全体で見ると大きい、平日のみで見ると小さくなる傾向にある。 ・就寝時刻のズレは起床時刻と比較すると小さい傾向にある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平日の起床時刻・就寝時刻のズレの努力目標は、1時間以内と考える。 ・土日は平日となるべく変わらないように寝起きすることが良いが、起床時刻・就寝時刻のズレを1時間以内にすることが望ましい。 |

問題点
今後の方針

- ・ 今回の専門家からの提言を踏まえ、必要に応じて詳細な分析を加えつつ、「生活習慣取り組みカード」の内容を見直した上で、カードを活用した指導を全校に展開していく予定。

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和元年6月27日

| | |
|-------|--|
| 件 名 | 区立小中学校に在籍する外国籍及び帰国児童・生徒に対する日本語指導について |
| 所管部課名 | 教育指導部教育指導課 |
| 内 容 | <p>区立小中学校に在籍する外国籍及び帰国児童・生徒に対する日本語指導について、下記のとおり報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 現状</p> <p>日本語の指導が必要な児童・生徒について、日本語適応指導講師派遣事業（日本語適応指導講師が各校を訪問。詳細は次頁※1を参照）を展開している。</p> <p>(1) 講師登録者53名（14ヶ国語）</p> <p>(2) 小学生117名、中学生34名が利用（平成31年1月末現在）</p> <p>(3) 利用期間は小学生3ヶ月（48時間）、中学生6ヶ月（96時間） いずれも最長3ヶ月（48時間）の延長が可能</p> <p>2 問題点</p> <p>(1) 利用児童・生徒数の増加予測</p> <p>(2) 日本語適応指導講師の確保</p> <p>(3) 日本語指導講師の指導力の担保</p> <p>3 今後の方針</p> <p>(1) 小学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語適応指導講師派遣事業の更なる充実により対応する。 ・利用期間については児童の習熟度を第一とし、期間延長について柔軟に対応する。 <p>(2) 中学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度以降に日本語通級指導学級（拠点校に設置された日本語指導学級へ生徒が通う。詳細は次頁※2を参照）を設置する。 ・日本語通級指導学級に配置する日本語指導講師を区非常勤職員「日本語指導員」として採用する。 ・足立区立第四中学校夜間学級の日本語学級と連携し、指導内容・方法について、研究を推進する。 <p>(3) 保護者との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ、通訳者を派遣する。 ・全小中学校に音声翻訳機等を配付する。 |
| 今後の方針 | 作業部会を通して、関係部署と体制整備の検討を進める。 |

I 現状

※1 日本語適応講師派遣事業

- 小中学校に在籍する外国籍及び帰国児童・生徒の学校生活への適応へ向け、講師を派遣している。

【主な指導内容】

学校生活に適応するための日本語、その他の指導
生活習慣の指導
→ 授業時間中の取り出し指導

【指導時間・回数・指導期間】

小学校 3ヶ月 (1回2時間×週2×12週=48時間)
中学校 6ヶ月 (1回2時間×週2×24週=96時間)
→ 最長3ヶ月(48時間)の延長可

【講師】

講師登録者数 53名 (14ヶ国語)
→ 身分は有償ボランティア
謝礼：¥3,000/1h (所得税、交通費含)

【利用児童・生徒数】

小学生 117名、中学生 34名 計 141名
(平成31年1月末現在)

II 課題

問題点①

利用児童・生徒数の増加予測

問題点②

日本語適応講師派遣事業の講師の確保

問題点③

日本語適応講師の指導力の担保

教育課題

足立区教育委員会主体の日本語指導に係る組織的体制整備の推進

III 今後の方針

- 外国人等日本語指導検討委員会(小学校長、中学校長、日本語学級教員等を含む)を立ち上げ、日本語指導に係る取組について、以下の内容を検討する。

【検討事項】

日本語適応指導講師派遣事業の継続・充実 及び (仮称) 日本語指導推進事業の新規展開

1 児童・生徒への指導

(1) 小学校

日本語適応指導講師派遣事業の継続・充実で対応

- ・ 現状を維持しつつ、児童の習熟度を第一とし、利用期間延長で柔軟に対応していく。
- ・ 日本語適応指導講師利用終了の基準となる評価について、検討・研究を進める。

(2) 中学校

※2 (仮称) 日本語指導推進事業の利用を中心に対応

(仮称) 日本語指導推進事業について

- ① 日本語通級指導学級の設置(複数への指導により対話的な学びを実現し、教育的効果を高める)
 - ・ 令和2年度以降、拠点となる小学校に日本語通級指導学級を設置し、「日本語指導員」を配置。
 - ・ 各校の生徒は、指定された曜日・時間に通級学級に通って日本語指導を受ける。
- ② 日本語指導員の非常勤職員化
 - ・ 講師ボランティア(一部)を非常勤職員として採用し、「日本語指導員」とする。
 - ※ 研修を実施し、指導力の向上を図る。
 - ・ 教材の活用方法、効果的な指導等、第四中学校夜間学級の日本語学級と連携し、研究する。

2 保護者との連携強化

- (1) 学校と保護者の連携、協力体制を推進するため、必要に応じて通訳者を派遣する。
- (2) 全小中学校に音声翻訳機等を配付する。

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和元年6月27日

| | |
|-----------|---|
| 件 名 | 「小学校第1学年に関するアンケート」実施結果について |
| 所 管 部 課 名 | 教育指導部就学前教育推進課 |
| 内 容 | <p>本年4月に実施した「小学校第1学年に関するアンケート」の結果について報告する。</p> <p>1 目的 小学校第1学年の具体的な姿を把握し、関係者で状況を共有し、幼保小連携活動の取り組みに活用する。</p> <p>2 対象 区立小学校1年生担任教諭（全69校 児童数5,103人）</p> <p>3 実施時期 平成31年4月（入学後から約2週間）</p> <p>4 結果概要（詳細については【別紙1】【別紙2】参照） (1) 区全体平均の傾向を見ると、<u>前回アンケートと内容を変更せずに実施した6項目（※）</u>について、<u>前年度を上回るかほぼ同水準の結果</u>となっている。 ※ アンケートでは、基本的な生活習慣が身に付いているか回答する教員の見取りの差が縮まるよう、項目ごとに見取りの「視点」を入れている。今回、以下の2項目で「視点」を変更して実施した。 ア 「あいさつや返事ができる」 「自ら進んであいさつする」という視点について、小学校側から「入学後緊張している時期であることを踏まえればハードルが高いのではないか」との意見があり、削除。 イ 「ひらがなで自分の名前が書ける」 「<u>正しい書き順で書く</u>」という視点について、幼児教育に求められる内容であるか専門家と相談した結果、削除。 (2) <u>8項目中6項目の区全体平均で、「身に付いている」と回答した割合が9割前後の数値に達している。</u></p> |

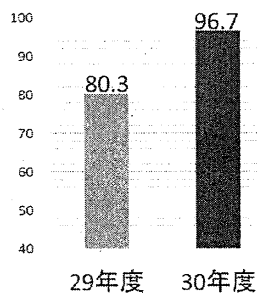
| | |
|----------------------|---|
| | <p>(3) 一方で、「給食を時間内に食べている」と「鉛筆を正しく持つことができる」については、比較的全体平均が低い数値を示しており、ブロックごとの結果にもばらつきがある。</p> <p>【別紙1】平成30年度「小学校第1学年に関するアンケート」実施結果(全体)</p> <p>【別紙2】平成30年度「小学校第1学年に関するアンケート」実施結果(ブロック別)</p> <p>【参考資料】平成30年度幼保小連携ブロック別一覧</p> |
| <p>問題点 今後の方針</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各ブロックに対し、昨年度までの連携活動の課題とともに本アンケート結果を分析し、連携活動の改善に活用するよう促していく。 ・ 各ブロックにおける本年度の取り組み結果や「あだち幼保小接続期カリキュラム」の内容も踏まえ、幼保小連携活動でより使いやすいアンケートとなるよう「項目」や「視点」を継続的に見直していく。 |

平成30年度「小学校第1学年に関するアンケート」実施結果（全体）

（平成31年4月実施）

「身に付いている」小学校1年生の割合（区全体：％）

- ①あいさつや返事ができる。 ②姿勢良く座ることができる。 ③静かに話を聞くことができる。 ④授業中、立ち歩かない。

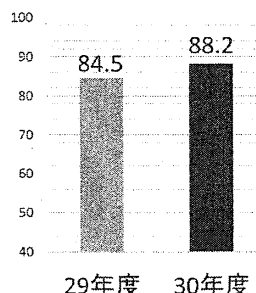


視点

・【29年度】自ら進んであいさつし、名前を呼ばれたら返事をすることができるか。

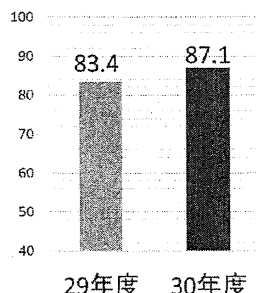
↓

・【30年度】名前を呼ばれたら返事をする



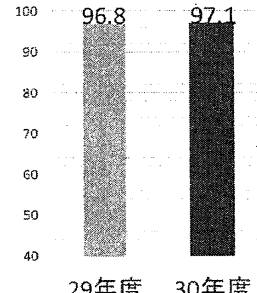
視点

・教師の指示で、背筋をのばし、足を床につけ、前を向いて座ることができるか。



視点

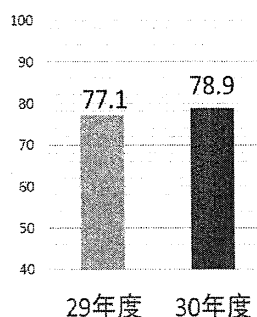
・話し手の目を見て、話し手の方に体の正面を向け、話を聞くことができるか。



視点

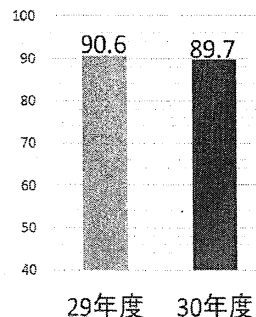
・授業中、自席から離席して立ち歩いていないか。

- ⑤給食を時間内に食べている。 ⑥学習道具を机の上に揃えることができる。 ⑦鉛筆を正しく持つことができる。 ⑧ひらがなで自分の名前が書ける。



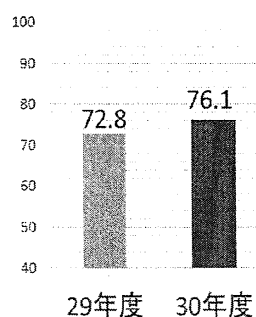
視点

・定められた時間内で、給食を食べ終わっているか。



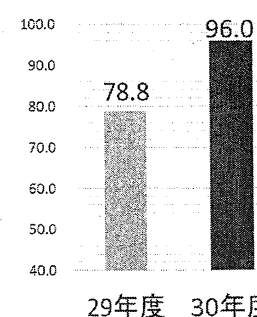
視点

・自分で学習用具を揃え、不必要なものは、道具箱やロッカーにしまうことができるか。



視点

・鉛筆を親指と人差し指でつまみ、親指が飛び出した持ち方になっていないか。

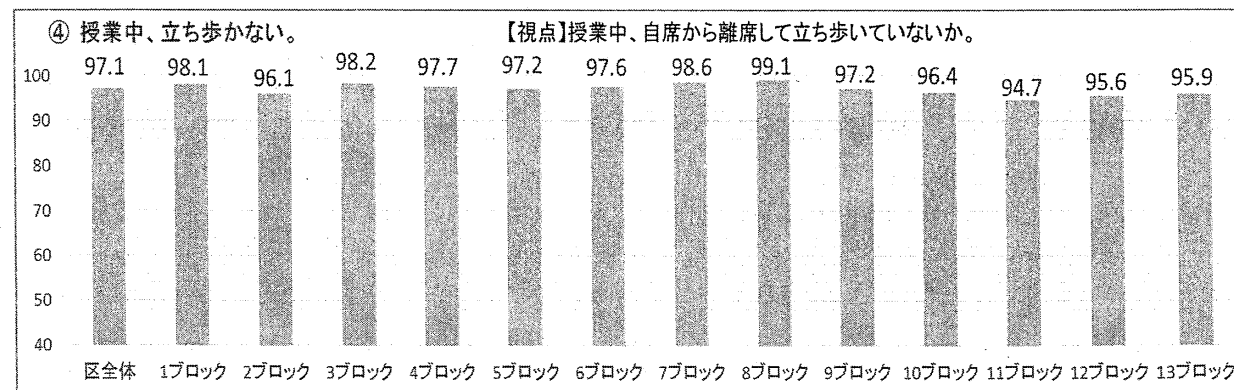
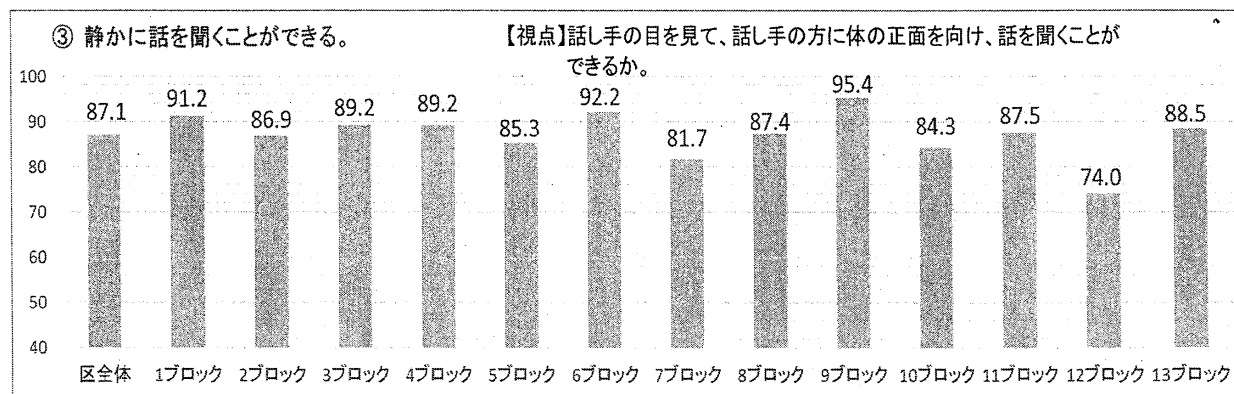
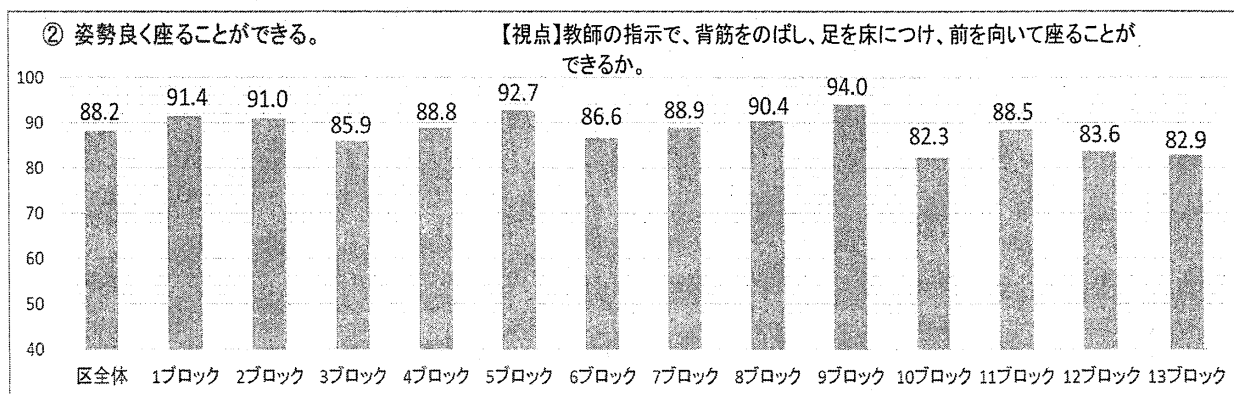
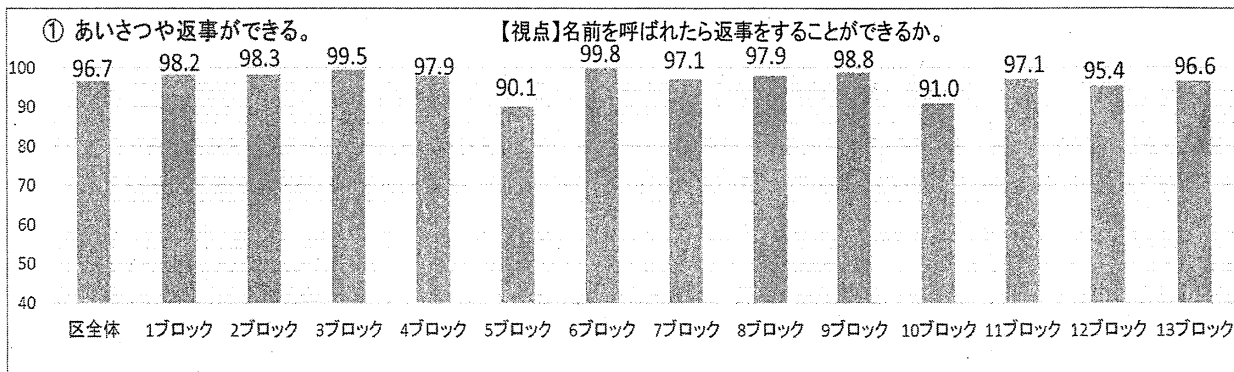


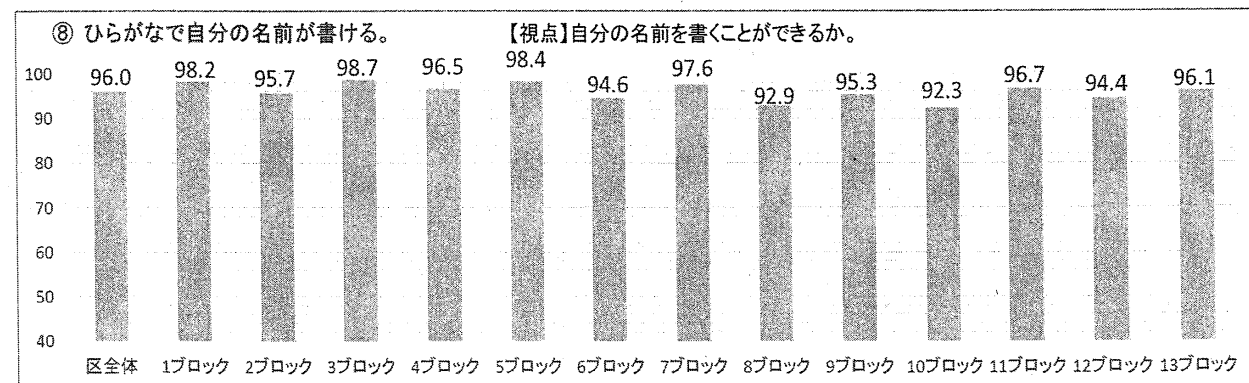
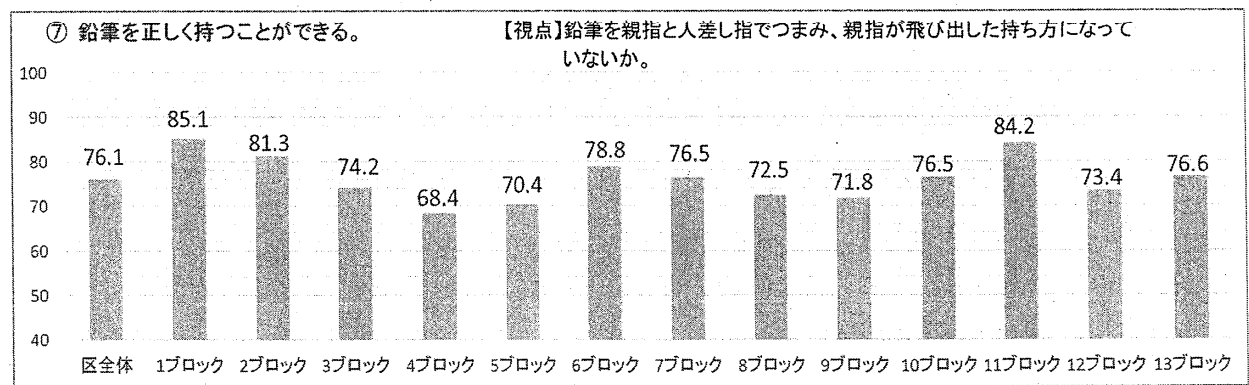
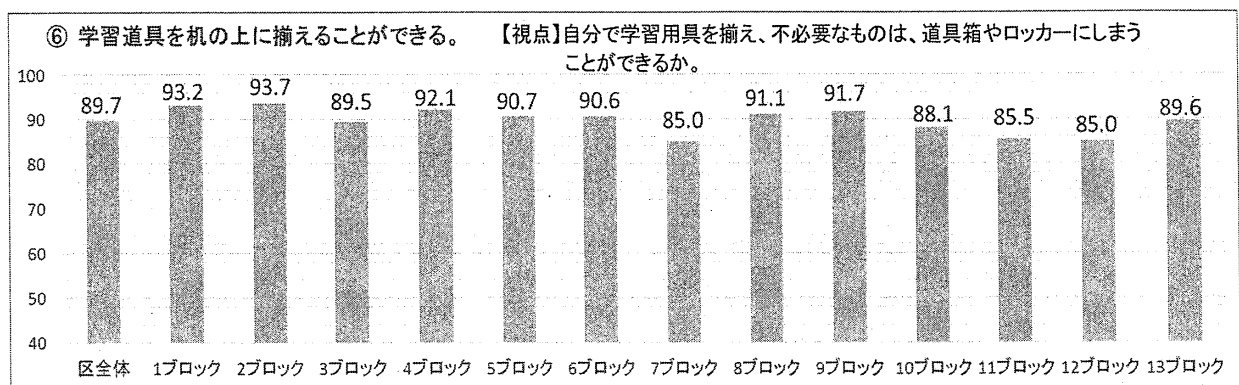
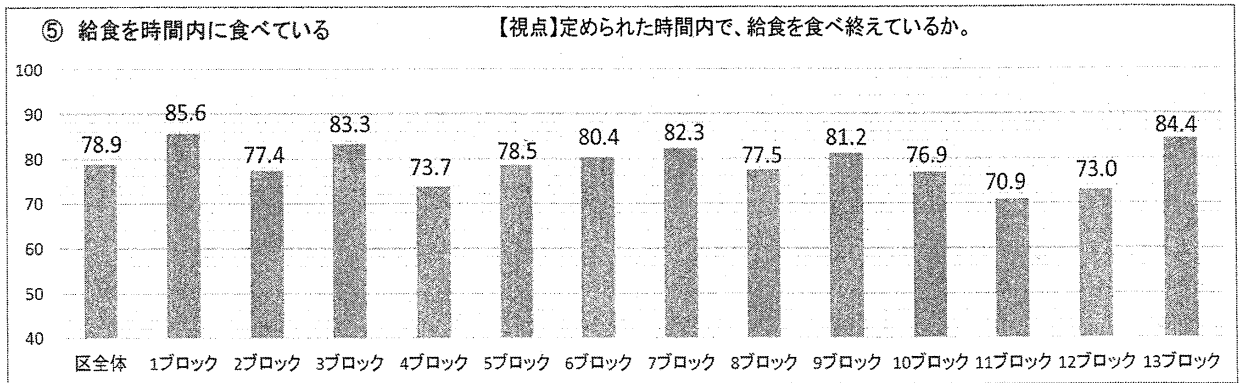
視点

・【29年度】自分の名前を正しい書き順で書くことができるか。
↓
・【30年度】自分の名前を書くことができるか。

平成30年度「小学校第1学年に関するアンケート」実施結果(ブロック別)

(平成31年4月実施)





平成30年度 幼保小連携ブロック別一覧

| ブロック | 小学校 | 幼稚園・こども園 | 保育園（認証含） |
|------|-------------------------------|-------------------------------|---|
| 1 | 千寿 千寿本町 千寿双葉 千寿常東 千寿桜 千寿第八 | 元宿 足立 聖和 中条 千住寿 | 第二日ノ出町 千住あずま 緑町 日ノ出町 千住 せきや Jキッズがね北千住 スター千住 クアアサリ千住大橋 あい保育園千住大橋 たんぼぼ保育所北千住園 ういず千住大橋駅前 ういず千住曙町 ぼけつとランド千住曙町 北千住もみじの森 まなびの森保育園千住大橋 北千住こども園 北千住どろんこ キッズガーデン足立柳原 |
| 2 | 江北 高野 扇 宮城 | 足立サレジオ 東京白百合 江北さくら | 上沼田 宮城 さつき 江北 三星 にじいろ保育園江北 |
| 3 | 興本 西新井第一 西新井 本木 寺地 | 足立愛育 足立双葉 興南 西新井 黒田 第一若草 | 本木 本木東 興本 興野 西新井教会 西新井聖華 いづみ 扇こころ フェリッシュ西新井 高野駅前こども園 キッズガーデン足立扇 |
| 4 | 亀田 栗原 関原 梅島 島根 梅島第一 梅島第二 | 梅島 こだま 満願寺 橋 専念寺 八千代 | 梅田 中部ひまわり 足立ひまわり 島根 うめだ「子供の家」 栗原つくし 親隣館 島根いちい 西新井きらきら 西新井きらきら第二 エール梅島 ちぐさ パンダ保育園梅島園 日生梅島保育園ひびき 日生梅島第二保育園ひびき |
| 5 | 弥生 足立 弘道 弘道第一 | 弘道 五反野 春光 城北 のぞみ | 中央本町 五反野 やよい 高和 西綾瀬りりおっこ 子ひばり 聖華こうどう 足立梅島雲母 |
| 6 | 長門 綾瀬 東加平 東瀬江 北三谷 大谷田 東綾瀬 | 足立白うめ 親愛 チェリー 美松学園 聖フランシスコ | あやせ 東綾瀬 北綾瀬聖華 足立若葉 隅田学園 東 チェリー 東部若葉 聖母のさゆり 東和 東綾瀬きらきら コムリアザ綾瀬 にじいろ保育園綾瀬 どんぐり保育園東和 フェリッシュ綾瀬 あやせパール園 恵・YOU ぼけつとランド綾瀬 ビューフェア東和親水 |
| 7 | 中川東 辰沼 中川 中川北 六木 | おおやた 東京いづみ 黒川 六木 | 大谷田第一 辰沼 六木 神明町 フェリッシュ北綾瀬 クアアサリスクールいづみ大谷田 |
| 8 | 青井 栗島 平野 加平 東栗原 | あおい 足立つくし 栗島 | 東栗原 平野 中央本町 青井 たんぼぼ保育所六町園 クアアサリ足立さくら園 明日葉保育園青井園 たんぼぼ保育所第二六町園 六町駅前 野のはな |
| 9 | 花畑第一 花畑西 花畑 桜花 花保 | 杉の子 石鍋 花畑八千代 | 花畑桑袋 東花畑 南保木間 六町あづま 愛隣 東保木間 レイメント花畑 六町 |
| 10 | 竹の塚 中島根 瀬江 瀬江第一 西保木間 保木間 | 小倉 竹塚 ふちえ | 北保木間 竹の塚北 中島根 西保木間 水神橋 竹の塚 保木間 瀬江 ちゃいれつく竹ノ塚駅前 保育園シキウエイ竹の塚 |
| 11 | 東伊興 伊興 西伊興 栗原北 西新井第二 | 佐藤 福寿院 はなぞの 本行寺第二伊興 | 伊興 西新井 清水 伊興すみれ 伊興大境 i- たんぼぼ保育所竹の塚園 ういず西新井 アスカ西新井 |
| 12 | 鹿浜五色桜 鹿浜第一 北鹿浜 皿沼 鹿浜西 新田 | 鹿浜 江北白百合 鹿浜愛育 | 加賀 第三上沼田 新田わかば 谷在家 新田 足立このみ 太陽 ココロット 新田おひさま 新田さくら 新田三丁目なかよし 保育園ウイラ・コロット さくらんぼ保育園新田 |
| 13 | 舎人第一 舎人 古千谷 足立入谷 | 足立つばめ 足立みどり 舎人 とねり伊藤 | いりや第一 いりや第二 聖 アスカとねり |

文教委員会報告資料

令和元年6月27日

| 件名 | 学校の適正規模・適正配置の進捗状況について | | | | | | | | | |
|-------|---|------|----|------|-----|---------------|-----|-----|---------------|-----|
| 所管部課名 | 学校運営部学校適正配置担当課 | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>1 江北地区の適正規模・適正配置の進捗状況</p> <p>(1) 新校舎の配置計画 新校舎の配置について統合地域協議会で協議を行い、北側校舎、南側校庭案が承認された。</p> <p>(2) 統合地域協議会の開催状況 (4/24 現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幹事会 4回 ・ 統合地域協議会 4回 (第5回は6月26日) <p>(3) 統合地域協議会ニュースの発行 統合地域協議会での協議内容や教育委員会で決定したことなどを保護者や地域に周知するため、統合地域協議会ニュースを発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創刊号 平成31年1月 発行 ・ 第2号 平成31年4月 発行 <p>(4) 入学者説明会での統合に関する情報提供</p> <table border="1" data-bbox="456 1361 1286 1514"> <thead> <tr> <th>月/日</th> <th>名称</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2/4</td> <td>江北小学校入学者向け説明会</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>2/6</td> <td>高野小学校入学者向け説明会</td> <td>46名</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 鹿浜地区の適正規模・適正配置の進捗状況</p> <p>(1) 統合地域協議会の発足及び第1回協議会の開催結果 令和元年5月29日に北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合地域協議会委員委嘱式及び第1回協議会を開催した。</p> <p>ア 委員構成 (別紙名簿のとおり) 両校の開かれた学校づくり協議会から推薦された地域代表5名、PTA代表1名、学校長、副校長の合計16名で構成する。</p> | 月/日 | 名称 | 参加人数 | 2/4 | 江北小学校入学者向け説明会 | 31名 | 2/6 | 高野小学校入学者向け説明会 | 46名 |
| 月/日 | 名称 | 参加人数 | | | | | | | | |
| 2/4 | 江北小学校入学者向け説明会 | 31名 | | | | | | | | |
| 2/6 | 高野小学校入学者向け説明会 | 46名 | | | | | | | | |

イ 第1回統合地域協議会での協議結果

| 主な協議事項 | 協議結果 |
|------------------|----------------------|
| 役員を選任 | 会長、会長職務代理及び副会長が決定された |
| 適正規模・適正配置実施計画（案） | 区の案のとおり承認された |
| 統合地域協議会ニュース | 発行していくことが承認された |
| 統合校の校名の選定方法 | 地域から公募することが決定された |

ウ 次回の日程

日時：7月24日（水）午後7時から

場所：鹿浜西小学校

議題：校名の公募について ほか

(2) 適正規模・適正配置実施計画の決定

統合地域協議会の承認が得られたので、正式な区の計画として決定した。

ア 実施計画の主な内容

- ・ 北鹿浜小学校と鹿浜西小学校を令和5年度に統合する。
- ・ 新校舎は、鹿浜中学校跡地(鹿浜五丁目18番)に建設する。
- ・ 通学区域は、現在の両校を合わせたものとする。
- ・ 令和5年4月からの新校舎での学校生活開始にあわせ、両校から移転する。
- ・ 統合地域協議会を設置し、統合に伴う諸課題を協議する。

イ 当初案から変更した内容

- ・ 改元に伴い、統合年月日等を元号（令和）表記とした。

(3) 統合地域協議会ニュースの発行

今後、統合地域協議会での協議内容や教育委員会で決定したことなどを保護者や地域の方々に周知するため、統合地域協議会ニュースを発行していく。

- ・ 創刊号 令和元年6月 発行

| | <p>(4) 説明会の開催状況</p> <p>ア 統合地域協議会設置に向けた説明会</p> <table border="1" data-bbox="483 367 1219 618"> <thead> <tr> <th>月/日</th> <th>対象団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2/28</td> <td>鹿浜西小学校開かれた学校づくり協議会</td> </tr> <tr> <td>3/ 7</td> <td>北鹿浜小学校開かれた学校づくり協議会</td> </tr> <tr> <td>3/28</td> <td>統合地域協議会設置に向けた準備会</td> </tr> <tr> <td>5/ 9</td> <td>鹿浜地区町会・自治会連絡協議会</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 入学者説明会での統合に関する情報提供</p> <table border="1" data-bbox="483 707 1311 860"> <thead> <tr> <th>月/日</th> <th>名 称</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2/ 1</td> <td>鹿浜西小学校入学者向け説明会</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>2/ 7</td> <td>北鹿浜小学校入学者向け説明会</td> <td>36名</td> </tr> </tbody> </table> | 月/日 | 対象団体 | 2/28 | 鹿浜西小学校開かれた学校づくり協議会 | 3/ 7 | 北鹿浜小学校開かれた学校づくり協議会 | 3/28 | 統合地域協議会設置に向けた準備会 | 5/ 9 | 鹿浜地区町会・自治会連絡協議会 | 月/日 | 名 称 | 参加人数 | 2/ 1 | 鹿浜西小学校入学者向け説明会 | 21名 | 2/ 7 | 北鹿浜小学校入学者向け説明会 | 36名 |
|------------------------|---|------|------|------|--------------------|------|--------------------|------|------------------|------|-----------------|-----|-----|------|------|----------------|-----|------|----------------|-----|
| 月/日 | 対象団体 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2/28 | 鹿浜西小学校開かれた学校づくり協議会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3/ 7 | 北鹿浜小学校開かれた学校づくり協議会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3/28 | 統合地域協議会設置に向けた準備会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5/ 9 | 鹿浜地区町会・自治会連絡協議会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 月/日 | 名 称 | 参加人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2/ 1 | 鹿浜西小学校入学者向け説明会 | 21名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2/ 7 | 北鹿浜小学校入学者向け説明会 | 36名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>問 題 点 今後の方針</p> | <p>引き続き、統合に向けた校名、校章、校歌及び設計等の課題を整理しながら、検討を進めていただく。教育委員会は、統合地域協議会から報告された検討結果を尊重し、統合に関する方針を決定していく。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

別紙

北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合地域協議会委員名簿

令和元年5月29日現在

(敬称略)

| 北鹿浜小学校開かれ推薦 | | 鹿浜西小学校開かれ推薦 | |
|-------------|--------------------|-------------|-------------------|
| 役職 | 氏名 | 役職 | 氏名 |
| 会長職務代理 | 渡邊 淳子 (開かれ会長) | 会長 | 野辺 陽子 (開かれ会長) |
| 副会長 | 矢部 俊久 (開かれ副会長) | 副会長 | 鈴木 健治 (開かれ副会長) |
| 委員 | 添田 陽子 (開かれ副会長) | 委員 | 松村 哲男 (開かれ参与) |
| 委員 | 石塚 祐二 (PTA会長) | 委員 | 野辺 慎一 (開かれ参与) |
| 委員 | 鹿浜 武夫 (開かれ前会長) | 委員 | 鈴木 三枝子 (PTA会長) |
| 委員 | 矢萩 恵一 (鹿浜島町会会長) | 委員 | 高橋 進 (青少年委員) |
| 委員 | 宇都宮 晴美 (校長) | 委員 | 飯島 淳 (校長) |
| 委員 | 日高 陽子 (副校長) | 委員 | 瀧 満裕 (副校長) |

※ 「開かれ」は、開かれた学校づくり協議会の略。

文教委員会報告資料

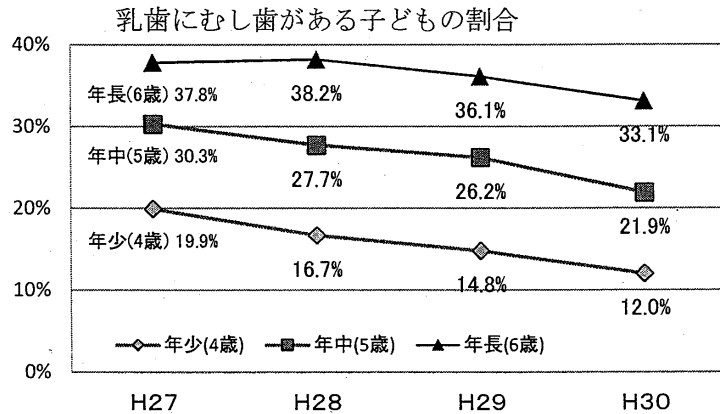
令和元年6月27日

| | |
|-------|--|
| 件名 | 平成30年度あだちっ子歯科健診の実施結果について |
| 所管部課名 | 子ども家庭部 子ども政策課、子ども施設運営課、子ども施設入園課 待機児対策室 子ども施設整備課 衛生部 データヘルス推進課 |
| 内容 | <p>平成30年度あだちっ子歯科健診実施結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 あだちっ子歯科健診の目的 足立区の子どもの歯・口腔の健康状態は、「未処置歯をもつ子の割合が多い」などの課題が多い状態である。そこで、むし歯が増えやすい年少児(4歳)から年長児(6歳)を対象に、(公社)東京都足立区歯科医師会、各保育施設、認定こども園、幼稚園等が連携、協働しながら①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、むし歯予防および早期の治療、さらに子どもの貧困対策にも繋がる取り組みを進めている。</p> <p>2 対象者 通園の有無に関わらず、年少児(4歳)から年長児(6歳)全ての幼児を対象に実施した。 ※ 区内の保育施設、こども園、幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施している。</p> <p>3 実施施設 188施設(私立幼稚園、私立認定こども園、区立保育園、区立認定こども園、公設民営園、私立保育園、認証保育所)</p> <p>4 実施状況 ※ 詳細は、別冊資料「平成30年度あだちっ子歯科健診実施結果報告書」(以下、「報告書」という)のとおり。 (1) 教育・保育施設等における受診状況(報告書 図1) 教育・保育施設の実施期間を5月～8月に4か月前倒し、治療(受診)勧奨期間の延長を図った。 (ア) 施設内健診の受診率は、99.0%と高い状況にある。 (イ) 未通園児等は、ハガキやSNSでの周知、関係機関からの働きかけなどを行うが受診率向上に繋がらず横ばいである。</p> |

5 歯科健診分析結果

「足立区保健衛生システム」に登録した子ども(14,928名)の歯科健診結果は、以下のとおりであった。

- (1) 年齢別・乳歯にむし歯がある子どもの割合(報告書 図2)
平成27～30年度の推移を年齢別にみると、全ての年齢で4ポイント以上減少した。

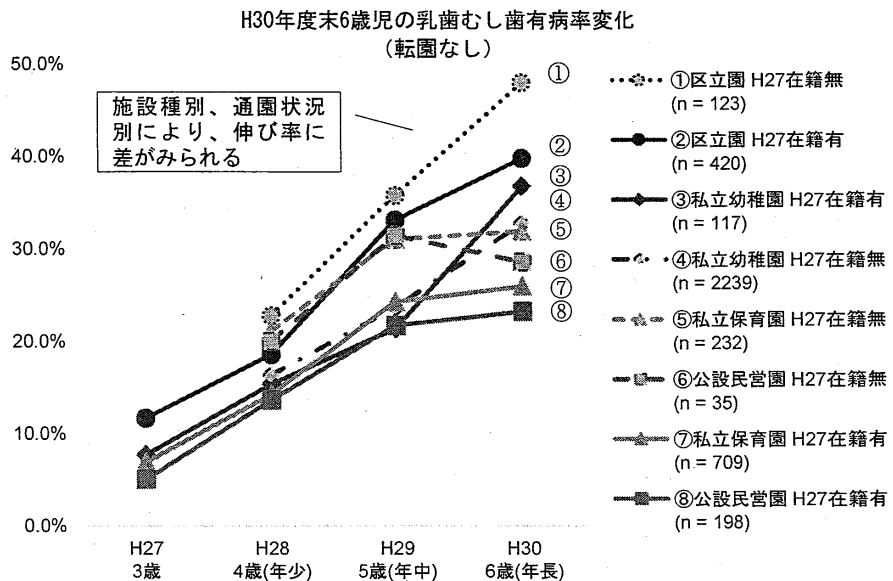


- (2) 未処置のむし歯がある子どもの割合(報告書 図3)

平成27年度と比較し、未処置のむし歯のある子どもは減少しているが、5本以上保有する子どもが一定数存在している。

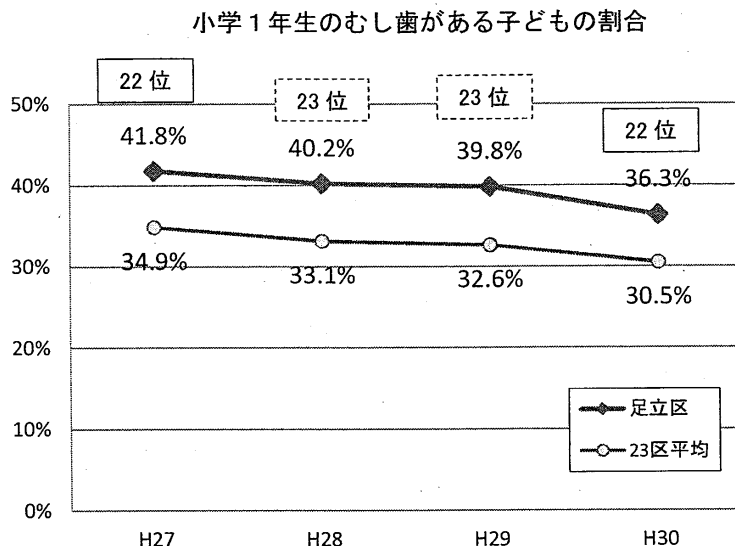
- (3) 通園施設別むし歯有病率(報告書 図4)

3歳から4か年同一施設に通園している子どもは、年少児(4歳)以降に入園した子どもに比べて、むし歯有病率が低い傾向にある。また施設種別により、むし歯有病率の伸び率に差がみられる。 ※ むし歯有病率は、処置歯も含む。



内 容

(4) 小学1年生のむし歯がある子どもの割合（報告書 図6）
特別区で最も多い状況を脱し、22位となった。就学前のむし歯の状況の改善が起因していると考えられる。



内 容

6 令和元年度の方向性

むし歯がある子の割合が減少するなど、これまでの取り組みの成果が認められる。引き続き、子どもの健全な口腔内環境を維持していくために、下記のとおり対策を講じていく。

- (1) 集計・分析結果を活用した「子どもの歯の健康づくり」の推進
 - (ア) 「5本以上のむし歯すべてが未処置である子ども」の後追い調査を行い、子ども家庭部・衛生部の歯科衛生士が必要に応じ、園訪問等で確認し、個別指導等を行う。
 - (イ) むし歯の伸び率の高い施設で仕上げみがきの指導等の取り組みを行う。
 - (ウ) 「保護者向け仕上げみがき動画」ならびに「関係機関向け歯みがきマニュアル」を作成して「歯みがきスキル向上」を目指す。
- (2) 未通園児の歯科健診未受診者への対応
実施3か月前より、ハガキ・SNS等で情報を発信し、関係機関からの働きかけなど、さらに受診の勧奨をすすめていく。
- (3) 学齢期の歯科健診データとの分析を実施
学校定期健康診断のデータ化に合わせて、乳歯と永久歯のむし歯の関係について分析・検討を行っていく。

問題点
今後の方針

報告書を各教育・保育施設に送付し、結果を周知する。フォローが必要な子どもや家庭には、庁内各所管や関係機関が連携し迅速に対応する体制を構築し、実践する。また、未通園児等の健診実施率・受診率の向上のための方策を検討していく。

文教委員会報告資料

令和元年6月27日

| | |
|-------|--|
| 件名 | 幼児教育・保育の無償化に関する方針について |
| 所管部課名 | 子ども家庭部 子ども政策課、子ども施設入園課 |
| 内容 | <p>令和元年10月1日に実施される「幼児教育・保育の無償化」に関する、足立区の方針について報告する。</p> <p>1 基本方針</p> <p>(1) 国の方針に基づく無償化の実施</p> <p>ア 認可保育所、認定こども園、小規模保育、家庭的保育等3～5歳児全世帯及び0～2歳児非課税世帯の保育料を無償とする。</p> <p>イ 幼稚園 本体保育料の月額2万5,700円上限まで無償とする。 預かり保育は、「保育の必要性」が認定されれば、本体を含めて3万7,000円まで無償とする。</p> <p>ウ 認可外保育施設 利用者の「保育の必要性」の認定と、認可外保育施設の「確認」がされれば、3～5歳全世帯は3万7,000円まで、0～2歳児非課税世帯は4万2,000円まで保育料を無償とする。</p> <p>(2) 私立幼稚園の無償化について補助拡大 待機児童対策として、幼稚園の利用促進を図るとともに、保育所との格差是正のため、区内幼稚園の平均保育料に平均冷暖房費を加えた2万9,000円上限まで補助を引き上げる。</p> <p>(3) 認証保育所の無償化について補助拡大 待機児童対策における、0～2歳児の受け皿として認証保育所の利用促進を図るため、東京都「認可外保育施設利用支援事業」を活用して補助を引き上げる。</p> <p>(4) 給食費の取り扱い 副食費相当分を徴収する。</p> <p>2 区民への周知 基本方針や詳細が決まり次第、様々な場面を通じ周知を行う。</p> <p>(1) あだち広報・ホームページ</p> <p>(2) 施設利用者と施設利用を希望する方を対象にした説明会（複数箇所で開催予定）</p> <p>(3) 教育・保育施設（在園者向け）</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| <p>問 題 点 今 後 の 方 針</p> | <p>1 問題点 (1) 今後、国が制度変更した場合、新たな対応が必要となる。</p> <p>2 今後の方針 (1) 認可保育所等の保育料について、足立区子育て支援サービス利用者負担適正化審議会に諮問し、審議・答申していただく。 (2) 制度の円滑な実施に向け、引き続き、国、東京都、他区の動向を注視しつつ、教育・保育施設と連携しながら進めていく。</p> |
|----------------------------|--|

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和元年6月27日

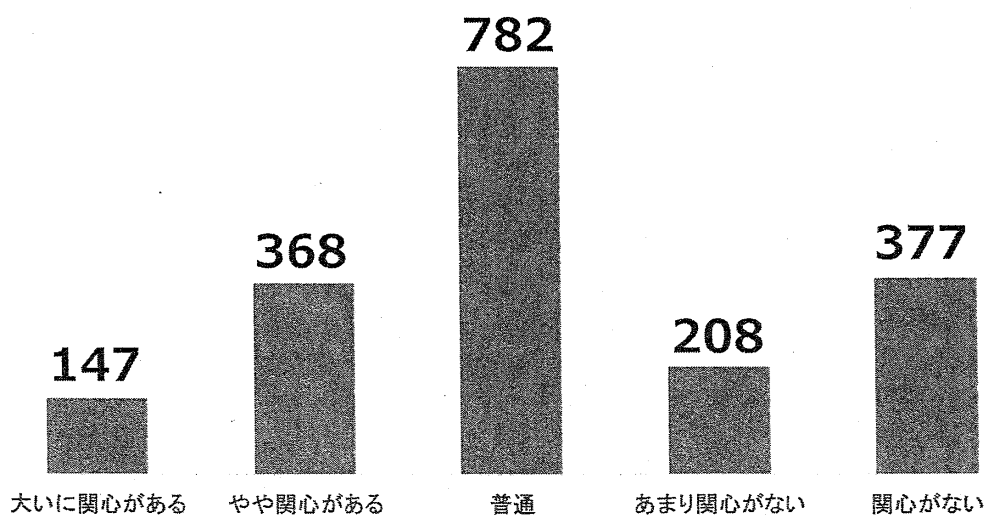
| | |
|--------------------|--|
| 件 名 | 成人年齢18歳引下げに伴うアンケートの実施結果について |
| 所 管 部 課 名 | 子ども家庭部青少年課 |
| 内 容 | <p>平成30年6月に民法の一部を改正する法律が成立し、令和4年度（2022年度）から成人年齢が18歳に引下げられることになった。</p> <p>これに伴い成人式の実施対象年齢等についてアンケートを実施した。結果について、下記のとおり報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 実施期間 平成31年4月10日から令和元年5月17日まで</p> <p>2 調査対象回答者 区内の都立高校（9校）の3年生 1,891名</p> <p>3 アンケート結果の概要 (1) 「成人式は何歳で行いたいか」の問いに対しては、 20歳が56%で、どちらでも良いが33%、 18歳が4%であった。 (2) 「成人式は三連休のいつ実施するのが望ましいか」 の問いに対しては、祝日（月曜日・現行実施日）が73%、 前日（日曜日）が14%、前々日（土曜日）が 10%であった。</p> <p>4 主な自由意見 ・成人式は20歳で実施するのが良い ・18歳での実施は早いと思う ・他の学年の人たちと一緒に実施したくない</p> <p>※アンケート結果の詳細は別紙のとおり</p> |
| 問 題 点 今 後 の 方 針 | アンケート結果を踏まえて、関係機関等に意見を聞きながら、実施日等を含めた方向性について決定していく。 |

成人年齢18歳引下げに伴う 成人式の実施について (アンケート)

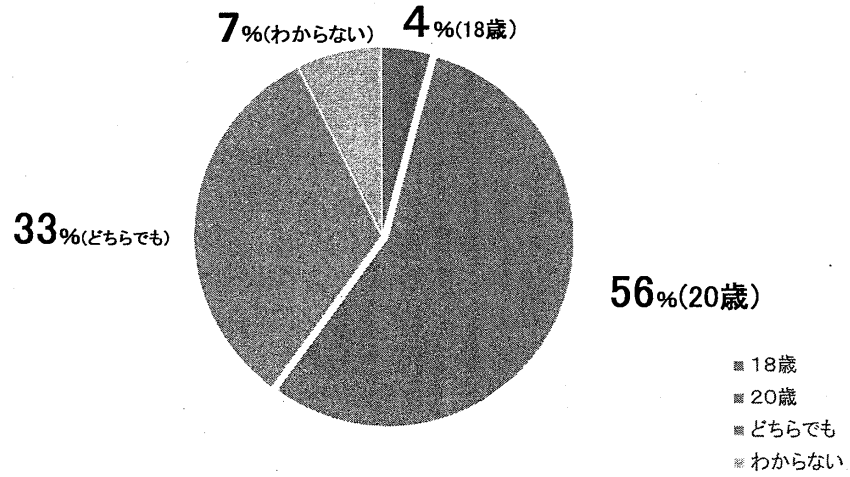


- ・区内都立高（9校）3年生対象
- ・実施期間2019年4月10日～5月17日
- ・回答者1,891名

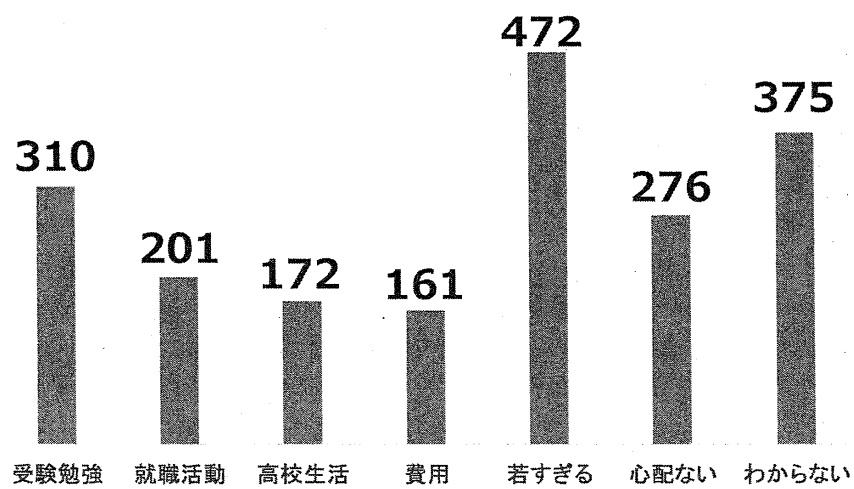
2022年度に、18歳で成人となることに対してどのように思いますか



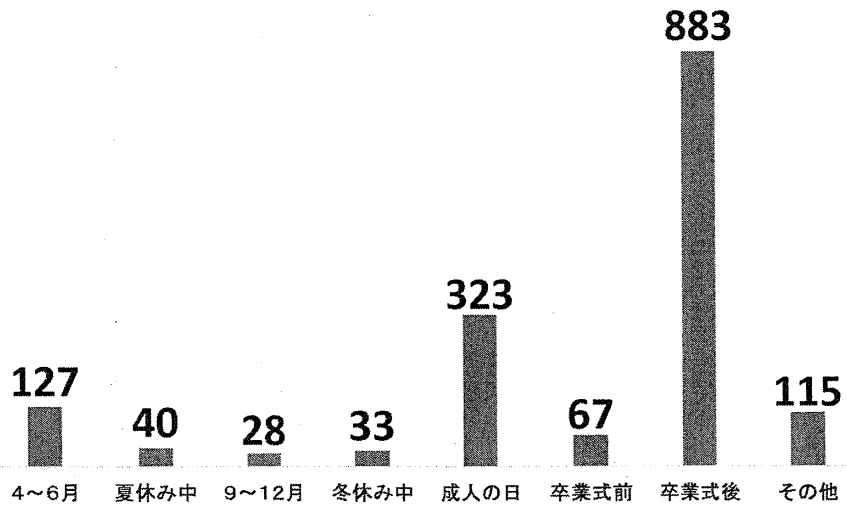
成人式は何歳で行いたいですか



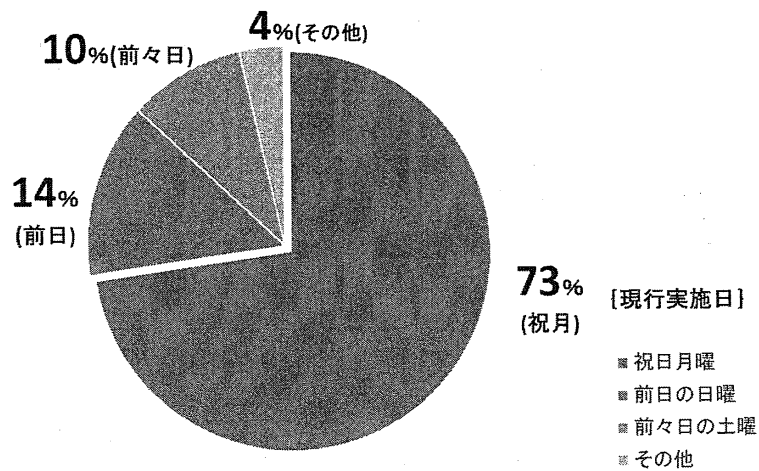
仮に成人式を18歳で行うとしたら、心配はありますか



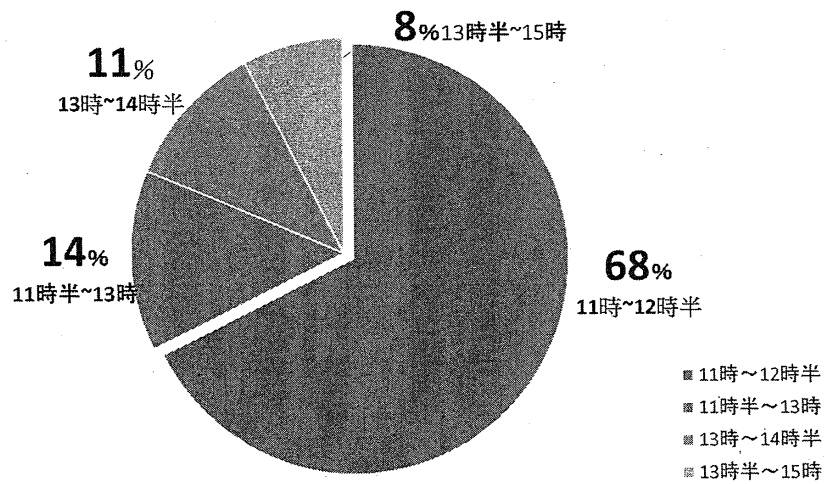
仮に成人式を18歳(一般的には高校3年生)で行う
場合時期はいつ頃が良いと考えますか



現在の成人式は三連休の最終日に実施して
いますがいつ実施するのが望ましいと思いますか



現在の成人式は午前11時～12時30分の時間で実施していますが、どの時間帯が望ましいと思いますか



文教委員会報告資料

令和元年6月27日

| 件名 | 平成30年度の不登校児童・生徒数について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|-------|-------|-----------------|-----------------|-------|-------|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----|-----|-----------------|-----------------|---------|----|-----|---|---|---------|----|-----|---|---|----------|----|-----|---|---|--------|----|-----|---|----|--|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|---|---------|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|---------|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|-----|----------|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|-----|--------|---|---|---|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 所管部課名 | こども支援センターげんき教育相談課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>1 平成30年度不登校児童・生徒数（累計30日以上欠席者）</p> <p>小学校 239人（29年度から 2人減） 中学校 697人（ ” 21人減） 合計 936人（ ” <u>23人減</u>）</p> <p>●不登校児童・生徒数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>123</td> <td>168</td> <td>203</td> <td>240</td> <td>265</td> <td>241</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td>出席扱い</td> <td>(9)</td> <td>(15)</td> <td>(28)</td> <td>(25)</td> <td>(17)</td> <td>(26)</td> <td>(14)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>456</td> <td>573</td> <td>675</td> <td>733</td> <td>813</td> <td>718</td> <td>697</td> </tr> <tr> <td>出席扱い</td> <td>(123)</td> <td>(128)</td> <td>(178)</td> <td>(189)</td> <td>(187)</td> <td>(224)</td> <td>(215)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>579</td> <td>741</td> <td>878</td> <td>973</td> <td>1078</td> <td>959</td> <td>936</td> </tr> <tr> <td>出席扱合計</td> <td>(132)</td> <td>(143)</td> <td>(206)</td> <td>(214)</td> <td>(204)</td> <td>(250)</td> <td>(229)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出席扱いとは、不登校であるが、学校の指導要録上は出席としている者の人数。 （不登校児童・生徒の支援を行う上で有効・適切である場合に、校長が判断。 学校以外の教育の場【チャレンジ学級、フリースクール、通信教育等】が該当） ※平成30年度不登校児童・生徒936人のうち、教育相談を受けている者は583人 （私立学校等含む）</p> <p>●欠席日数別不登校児童・生徒数 ※チャレンジ学級は私立学校等からの通級者を除く</p> <table border="1"> <caption>欠席日数別不登校児童・生徒数</caption> <thead> <tr> <th>欠席日数</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>小学校(チャレンジ学級通級者)</th> <th>中学校(チャレンジ学級通級者)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30日-59日</td> <td>83</td> <td>108</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>60日-89日</td> <td>45</td> <td>108</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>90日-119日</td> <td>34</td> <td>107</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>120日以上</td> <td>77</td> <td>374</td> <td>6</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> <p>●欠席日数別不登校児童・生徒の学年別人数内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小1</th> <th>小2</th> <th>小3</th> <th>小4</th> <th>小5</th> <th>小6</th> <th>計</th> <th>中1</th> <th>中2</th> <th>中3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30日-59日</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>24</td> <td>20</td> <td>83</td> <td>34</td> <td>38</td> <td>36</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>60日-89日</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>45</td> <td>42</td> <td>35</td> <td>31</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>90日-119日</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>41</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>120日以上</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>22</td> <td>37</td> <td>77</td> <td>82</td> <td>118</td> <td>174</td> <td>374</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>28</td> <td>35</td> <td>67</td> <td>81</td> <td>239</td> <td>190</td> <td>225</td> <td>282</td> <td>697</td> </tr> </tbody> </table> | | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 小学校 | 123 | 168 | 203 | 240 | 265 | 241 | 239 | 出席扱い | (9) | (15) | (28) | (25) | (17) | (26) | (14) | 中学校 | 456 | 573 | 675 | 733 | 813 | 718 | 697 | 出席扱い | (123) | (128) | (178) | (189) | (187) | (224) | (215) | 合計 | 579 | 741 | 878 | 973 | 1078 | 959 | 936 | 出席扱合計 | (132) | (143) | (206) | (214) | (204) | (250) | (229) | 欠席日数 | 小学校 | 中学校 | 小学校(チャレンジ学級通級者) | 中学校(チャレンジ学級通級者) | 30日-59日 | 83 | 108 | 5 | 5 | 60日-89日 | 45 | 108 | 3 | 3 | 90日-119日 | 34 | 107 | 9 | 9 | 120日以上 | 77 | 374 | 6 | 53 | | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 計 | 中1 | 中2 | 中3 | 計 | 30日-59日 | 6 | 6 | 15 | 12 | 24 | 20 | 83 | 34 | 38 | 36 | 108 | 60日-89日 | 2 | 3 | 7 | 10 | 13 | 10 | 45 | 42 | 35 | 31 | 108 | 90日-119日 | 5 | 2 | 3 | 2 | 8 | 14 | 34 | 32 | 34 | 41 | 107 | 120日以上 | 0 | 4 | 3 | 11 | 22 | 37 | 77 | 82 | 118 | 174 | 374 | 合計 | 13 | 15 | 28 | 35 | 67 | 81 | 239 | 190 | 225 | 282 | 697 |
| | | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小学校 | 123 | 168 | 203 | 240 | 265 | 241 | 239 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 出席扱い | (9) | (15) | (28) | (25) | (17) | (26) | (14) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 中学校 | 456 | 573 | 675 | 733 | 813 | 718 | 697 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 出席扱い | (123) | (128) | (178) | (189) | (187) | (224) | (215) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 合計 | 579 | 741 | 878 | 973 | 1078 | 959 | 936 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 出席扱合計 | (132) | (143) | (206) | (214) | (204) | (250) | (229) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 欠席日数 | 小学校 | 中学校 | 小学校(チャレンジ学級通級者) | 中学校(チャレンジ学級通級者) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 30日-59日 | 83 | 108 | 5 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60日-89日 | 45 | 108 | 3 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 90日-119日 | 34 | 107 | 9 | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 120日以上 | 77 | 374 | 6 | 53 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 計 | 中1 | 中2 | 中3 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30日-59日 | 6 | 6 | 15 | 12 | 24 | 20 | 83 | 34 | 38 | 36 | 108 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60日-89日 | 2 | 3 | 7 | 10 | 13 | 10 | 45 | 42 | 35 | 31 | 108 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 90日-119日 | 5 | 2 | 3 | 2 | 8 | 14 | 34 | 32 | 34 | 41 | 107 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 120日以上 | 0 | 4 | 3 | 11 | 22 | 37 | 77 | 82 | 118 | 174 | 374 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 13 | 15 | 28 | 35 | 67 | 81 | 239 | 190 | 225 | 282 | 697 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2 増減の主な要因と取り組み例

●不登校学校種別増減

| | 増加（人数） | 減少（人数） | 変化なし |
|-----|-----------|------------|------|
| 小学校 | 26校（77人） | 31校（▲79人） | 12校 |
| 中学校 | 15校（99人） | 17校（▲120人） | 3校 |
| 計 | 41校（176人） | 48校（▲199人） | 15校 |

(1) 小学校（平成29年度との比較等）

【増加】 ■ 10人以上増加（2校）、3人から9人増加（9校）

- ・家庭との連絡がつかないことが多く、不登校児童の状況改善に向けた取り組みが困難であった。
- ・学習意欲や登校意欲が乏しい児童への支援が困難であった。

【減少】 ■ 6人減少（2校）、4人から5人減少（6校）

- ・担任の家庭訪問により登校状態が改善した。
- ・ケース会議で、欠席が続く児童の個別支援計画を共有し、共通理解のもと学校全体で不登校の未然防止に努めた。

(2) 中学校（平成29年度との比較等）

【増加】 ■ 10人以上増加（5校）、5人から9人増加（3校）

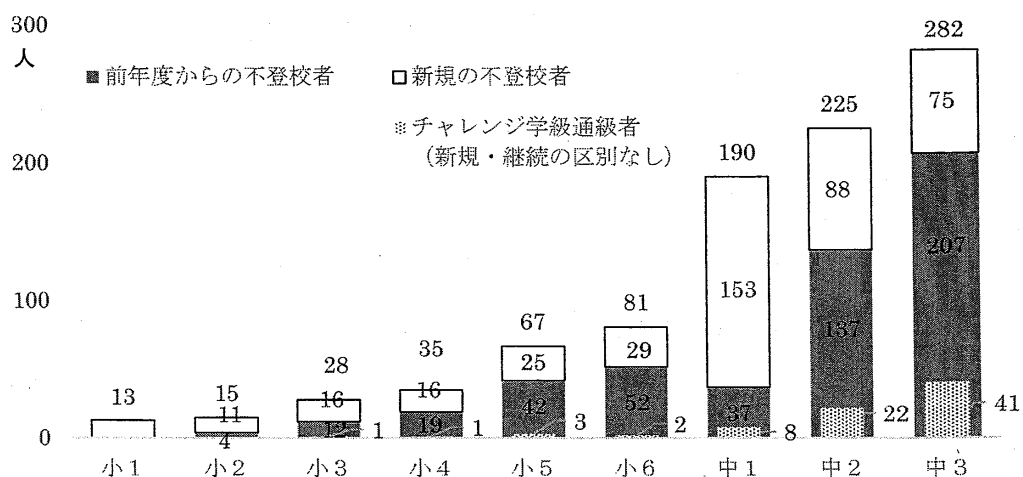
- ・長期休み明けの宿題の量が多く、対応できないことが不登校へと繋がった。
- ・集団生活ができないなど、学校への不応適が発生した。

【減少】 ■ 10人以上減少（3校）、5人から9人減少（8校）

- ・生徒の状況に応じて別室で指導を行うなど、登校しやすい環境づくりを実践した。
- ・担任以外でも、欠席した生徒には必ず家庭訪問することを徹底し、長期欠席とならないよう学校全体の不登校支援を強化した。
- ・登校しぶりの段階での家庭訪問や電話連絡等、きめ細かい不登校の取り組みが定着してきた。

3 不登校対策の早期発見・未然防止の必要性

●平成30年度学年別不登校児童・生徒数



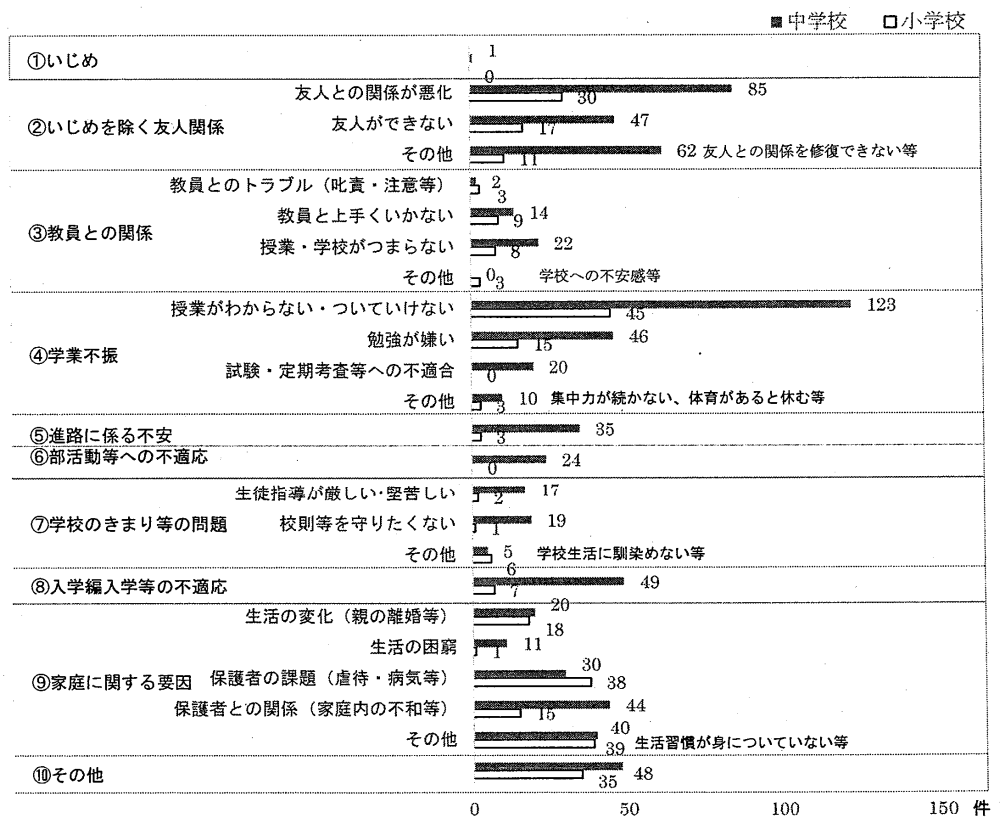
(1) 中学校1年生への支援

中1では初めて不登校となる生徒が、中1の不登校の8割を超える。進学による生徒の環境の変化等を注意深く観察し、未然防止と早期発見の取り組みが重要である。

(2) 不登校児童・生徒への多様な教育機会の確保

不登校となってしまった児童・生徒には、学校に復帰するという結果のみを目的とするのではなく、児童・生徒が自らの進路を主体的にとらえて、社会的な自立をめざす必要がある。チャレンジ学級等、多様な教育機会の確保が重要である。

4 平成30年度の不登校児童・生徒の要因（※複数回答）



※⑩「その他」は、①から⑨に該当しないもの

※要因の選択について

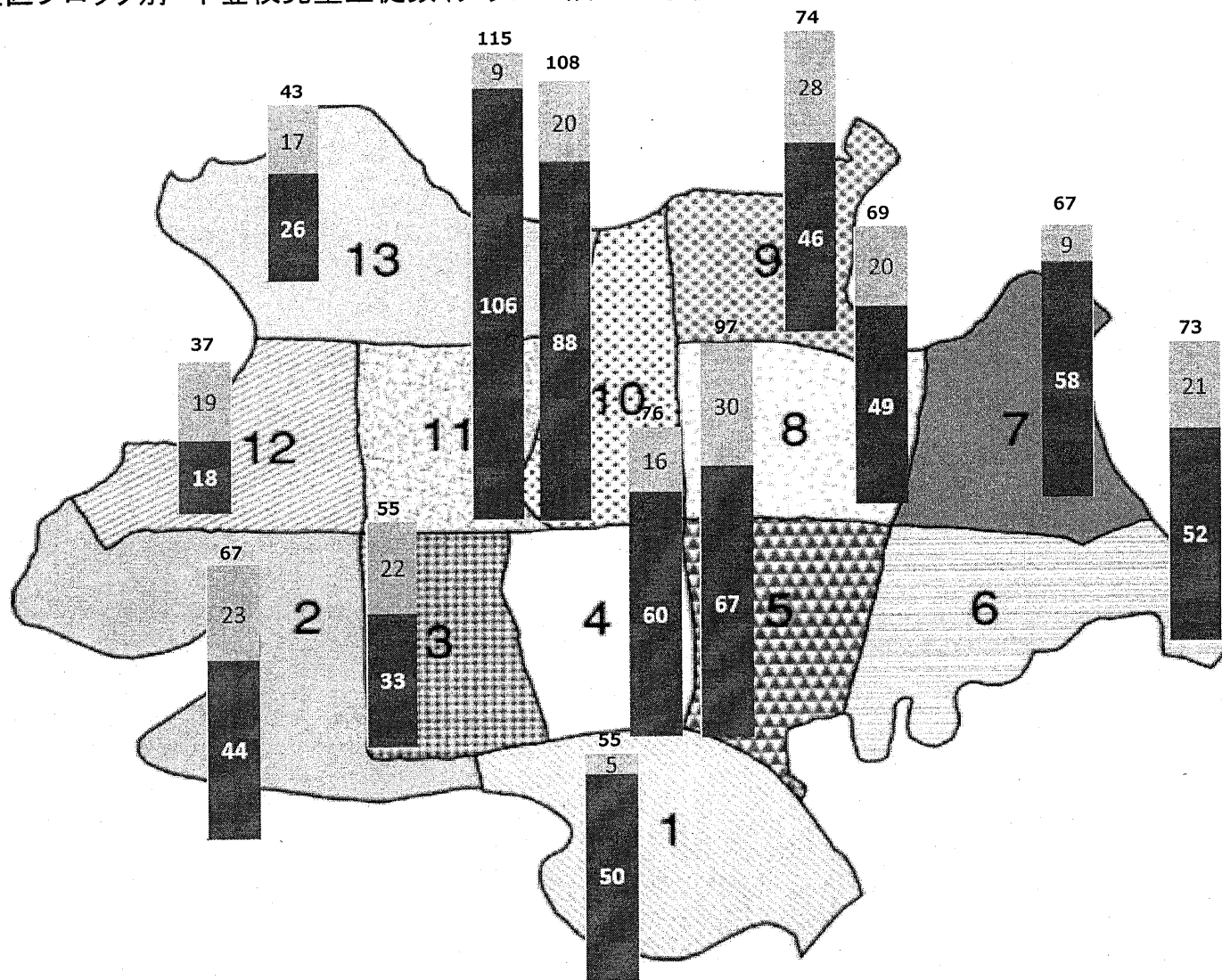
- ・累計30日以上欠席した児童・生徒全員につき、要因を選択(複数選択可)。
- ・学級担任など当該児童・生徒の状況を最も把握することができる教職員が、本人や保護者の意見を踏まえ、SC等の専門家を交えたアセスメントを行った上で選択。

今後の方針
その他

- 1 魅力のある学校づくり等を通じ、未然防止に努めるとともに、欠席状況のデータベースを活用した早期対応を進める。
- 2 別室登校、チャレンジ学級など多様な教育機会を確保し、支援を拡大する。また、外出が困難な児童・生徒にもアプローチし、居場所を兼ねた学習支援事業を活用した不登校支援に繋げる。

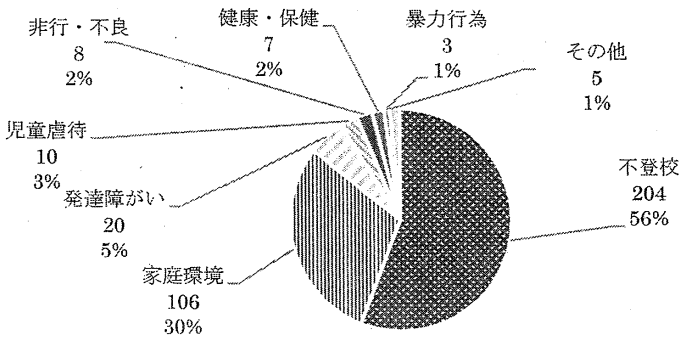
平成30年度足立区ブロック別 不登校児童生徒数(グラフ上段は小学校、下段は中学校)

別添資料



文教委員会報告資料

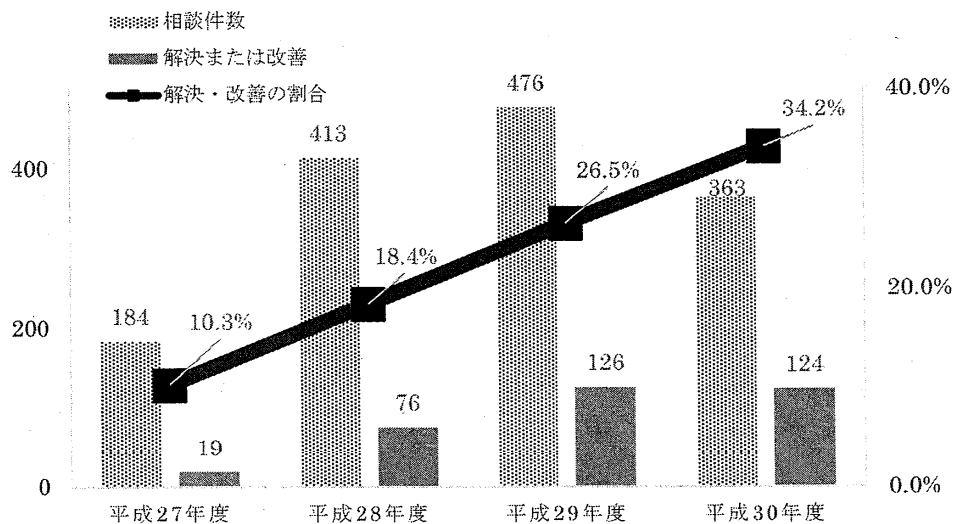
令和元年6月27日

| 件名 | スクールソーシャルワーカー（SSW）の平成30年度活動実績について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--------|-----|-----------------|--------|--------|------|------|-------|-----|-----|------|----|-----|-------|-----|-----|-------|---|-----|------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| 所管部課名 | こども支援センターげんき教育相談課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>平成30年度は、区内全校を12グループに分け、各学校に派遣する体制を整えた。その活動実績について報告する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>1 平成30年度のSSWの活動実績 校内会議への参加等を通じ教職員・スクールカウンセラー（SC）等と情報を共有し支援内容を策定した。また必要に応じ個人面談や家庭訪問を行い、児童・生徒、保護者への支援等を行った。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>【支援の対象となった児童・生徒数】</p> <table border="1" data-bbox="491 808 1342 1077"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> <tr> <th>単回相談</th> <th>継続支援</th> <th>総件数</th> <th>総件数</th> <th>総件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>9</td> <td>171</td> <td>180</td> <td>246</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>6</td> <td>177</td> <td>183</td> <td>230</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15</td> <td>348</td> <td>363</td> <td>476</td> <td>413</td> </tr> </tbody> </table> | | 平成30年度 | | | 平成29年度 | 平成28年度 | 単回相談 | 継続支援 | 総件数 | 総件数 | 総件数 | 小学校 | 9 | 171 | 180 | 246 | 219 | 中学校 | 6 | 177 | 183 | 230 | 194 | 合計 | 15 | 348 | 363 | 476 | 413 |
| | | | 平成30年度 | | | 平成29年度 | 平成28年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 単回相談 | 継続支援 | 総件数 | 総件数 | 総件数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学校 | 9 | 171 | 180 | 246 | 219 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学校 | 6 | 177 | 183 | 230 | 194 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 15 | 348 | 363 | 476 | 413 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>●SSWの支援件数について 導入後3年が経過し、SSWの学校コンサルテーションが浸透しつつあり、校内で解決できる案件が増えている。近年は、学校だけでは解決できない困難ケースの対応を中心に活動しているため、30年度は29年度に比べて支援対象の総件数は減少している。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【訪問活動の回数】</p> <table border="1" data-bbox="491 1301 1126 1429"> <tbody> <tr> <td>学校</td> <td>1,940</td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td>834</td> </tr> <tr> <td>関係機関（病院、福祉事務所等）</td> <td>129</td> </tr> </tbody> </table> | 学校 | 1,940 | 家庭 | 834 | 関係機関（病院、福祉事務所等） | 129 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校 | 1,940 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家庭 | 834 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係機関（病院、福祉事務所等） | 129 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【主訴別件数】</p>  <table border="1" data-bbox="491 1525 1173 1861"> <thead> <tr> <th>主訴</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校</td> <td>204</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>家庭環境</td> <td>106</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>発達障がい</td> <td>20</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>児童虐待</td> <td>10</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>非行・不良</td> <td>8</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>健康・保健</td> <td>7</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>暴力行為</td> <td>3</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table> | 主訴 | 件数 | 割合 | 不登校 | 204 | 56% | 家庭環境 | 106 | 30% | 発達障がい | 20 | 5% | 児童虐待 | 10 | 3% | 非行・不良 | 8 | 2% | 健康・保健 | 7 | 2% | 暴力行為 | 3 | 1% | その他 | 5 | 1% | | | |
| 主訴 | 件数 | 割合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不登校 | 204 | 56% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家庭環境 | 106 | 30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発達障がい | 20 | 5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童虐待 | 10 | 3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非行・不良 | 8 | 2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 健康・保健 | 7 | 2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 暴力行為 | 3 | 1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 5 | 1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1" data-bbox="438 1906 1401 2067"> <tr> <td> <p>※家庭環境の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母の精神疾患に伴い家庭の養育力の欠如。 ・上の兄弟が不登校であり、家庭内で通学する環境が整っていない。 </td> <td> <p>※不登校の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムが崩れ、昼夜逆転生活となる。 ・不安やストレスが高い状態が続き、登校するエネルギーが不足している。 </td> </tr> </table> | <p>※家庭環境の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母の精神疾患に伴い家庭の養育力の欠如。 ・上の兄弟が不登校であり、家庭内で通学する環境が整っていない。 | <p>※不登校の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムが崩れ、昼夜逆転生活となる。 ・不安やストレスが高い状態が続き、登校するエネルギーが不足している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>※家庭環境の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母の精神疾患に伴い家庭の養育力の欠如。 ・上の兄弟が不登校であり、家庭内で通学する環境が整っていない。 | <p>※不登校の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムが崩れ、昼夜逆転生活となる。 ・不安やストレスが高い状態が続き、登校するエネルギーが不足している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2 活動による成果

- ・児童の関連機関や福祉事務所と連携を図った。(17件)
 (例) 状況の整理のために今までの支援経過の把握等を行い、児童相談所や福祉事務所のケースワーカー等から情報収集を実施する。
- ・保健センターや医療機関等へつないだ。(4件)
 (例) 定期通院中の医療機関とケース会議を実施し、安定した通学につなげるために学校の長期休暇中にレスパイト入院などの利用を提案する。
- ・チャレンジ学級等の学校以外の教育機関につなげた。(28件)
 (例) 保護者や学校教員からチャレンジ学級の要望等を伺い、教育相談員と連携した上でチャレンジ学級を利用する。

【相談件数と改善又は解決した件数】



※解決とは、学校と協議した結果、主たる要因が解消された場合。
 改善とは、複数の要因のうち、いくつかの要因が解決された場合や、主たる要因の解消に向けて進展した場合。

3 令和元年度の実施内容

- ・西新井、竹ノ塚、綾瀬の3地区を活動拠点とし、SC、教育相談員、SSWの密な連携を実施する。
- ・中学校を拠点校として、すべての小学校を月に1回を目安に巡回する。
- ・常勤SSWを1名配置して、福祉事務所や保健センター等との情報共有を強化し、福祉と教育の連携を図る。

今後の方針

今年度より、SSWとSCを同じ拠点に配置したため、専門職員相互の協力体制と学校等への支援の強化を図る。

SSW担当ブロック別 平成30年度 相談件数

